

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会保障	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年	学期及び曜時限	前期 火曜3限	教室名	1202教室
担 当 教 員	今井 孝司	実務経験とその関連資格	滋慶学園にて同科目を20年担当。 龍谷大学大学院経済学研究科にて修士を取得。修士論文題名:「台湾の高齢者福祉」論で修士を取得。		

《授業科目における学習内容》

まず生活における「リスク」という概念を理解し、社会経済上に発生するそれぞれの「リスク」について、社会保障はどのように構築されてきたか、現代社会においてはどのように機能しているのかを学習する。次にわが国で施行されている5つの社会保険のうち、年金保険の詳細について学習する。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:70 %
2. 小テスト・授業態度:10%
3. 出席評価点:20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『最新・社会福祉士養成講座 社会保障』、中央法規出版

《授業外における学習方法》

少子・高齢社会の進行により発生する問題点をとり上げた新聞・ネットニュースなどの情報にたえず留意しておくこと。必要と思われる事項については切り抜き・スクラップ、またはタブレットやコンピュータ上に専用のファイルを作成し、保存・管理しておくことが望まれる。

《履修に当たっての留意点》

社会保障は社会福祉領域の中でも経済学的要素が強い科目です。授業内容は社会保障の根底から講義しますが、ここで得た知識は国家試験の出題について対応できる実力が形成されるものです。授業内容は難しく感じるかも知れませんが、しっかりついてきてください。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	受講生の社会的雑学および好奇心の計測を実施し、社会経済・文化を広げることができるようになる。	配布プリント	テキストを一読しておく
	各コマにおける授業予定	社会経済・文化に関するクイズの実施		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	福祉国家から地域福祉へ移行していった背景を理解し、社会保障における再分配の意義と類別、社会保障の領域について説明できるようになる。	指定テキスト	前回配布プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく
	各コマにおける授業予定	ライフサイクルと社会保障制度		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障はどのような制度によって担保されているか、実施されるかを理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	前回配布プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく
	各コマにおける授業予定	社会保障の理念と機能		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障(再分配)の方法は社会民族と歴史によって異なる。国家試験で対象となる6か国に関してその概要を理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	配布済プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく 第1章の小テスト実施の準備をしておく
	各コマにおける授業予定	欧米における社会保障の歴史的展開 内容の小テスト実施		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	明治期以降の窮民救済制度と社会保険法案化の成立、戦後社会保障制度構築過程について、社会経済背景とともに理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	配布済プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく
	各コマにおける授業予定	日本における社会保障の歴史的展開		

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 税を財源に実施される社会扶助、保険料を財源とする社会保険についてそれぞれの給付方法を理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	前回配布プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく 第2章の小テスト実施の準備をしておく
	各コマにおける授業予定	社会保障の体系 内容の小テスト実施		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 社会保険の経済連帯範囲と制度設計、社会扶助に包括される社会福祉と手当の種別を理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	配布済プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく
	各コマにおける授業予定	社会保険・社会扶助の構造		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 社会保障給付費と社会支出の算出方法の理解とどの分野に多くの財源が使われているか説明できるようになり、少子高齢社会の問題を再認識できる。	指定テキスト 社人研データ プロジェクター	配布済プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく 第3章の小テスト実施の準備をしておく
	各コマにおける授業予定	社会保障の費用・財源 内容の小テスト実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 社会保障制度、労働基準法なき資本主義むき出しの社会で生きることのリスクと、経済成長と地域・身分格差を認識し、説明できるようになる。	DVD再生機材 プロジェクター	テキスト第4章を読んでおく
	各コマにおける授業予定	ドキュメンタリー作品『女工哀歌』鑑賞		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 年金保険制度成立の社会背景、各制度加入者の属性、二階・三階建てとなっている構造を理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	前回配布プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく 第4章の小テスト実施の準備をしておく
	各コマにおける授業予定	年金保険制度の沿革 内容の小テスト実施		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 国民年金の沿革と老齢基礎年金制度について理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	配布済プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく
	各コマにおける授業予定	国民年金 その1		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 障害基礎年金と遺族基礎年金について理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	配布済プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく
	各コマにおける授業予定	国民年金 その2		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 労働者と被用者の識別と、年金制度においてなぜ給与生活者が優遇されてきたのかを理解し、説明できるようになる。	指定テキスト	配布済プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく
	各コマにおける授業予定	厚生年金		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 少子高齢社会の進行から議論されている制度改正について理解し、説明できるようになる。	指定テキスト プロジェクター	配布済プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく 第5章の小テスト実施の準備をしておく
	各コマにおける授業予定	年金保険制度をめぐる最近の動向 内容の小テスト実施		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 前期講義内容の理解度について計測し、学んできた内容を説明できるようになる。		配布済プリント全てについて整理の上理解しておく
	各コマにおける授業予定	前期のまとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	権利擁護を支える法制度		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	1202教室
担 当 教 員	高岡 克行	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
成年後見制度をはじめとする権利擁護に係る法制度について実践的に理解し、それを相談援助活動等に活かすことができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『福祉と法学・法教育』株式会社滋慶出版 参考図書:『最新・社会福祉士養成講座19 権利擁護を支える法制度』中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
授業中に全6回実施する小テストで正解できなかったところを中心に復習し、すべての選択肢について、なぜ正しく、どこが誤っているのかを明らかにしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
電子政府のホームページなどを利用して、法律の原文に触れる努力を惜しまないこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	親族, 扶養, 親権について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。	
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第1章 民法の親族法 親族, 扶養, 親権について概説する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	婚姻, 実子と養子について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。 ・主要判例について, 最高裁判所のホームページ等で調べておく。	
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第1章 民法の親族法 婚姻, 実子と養子について概説する。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	親族, 扶養, 親権, 婚姻, 実子と養子について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し, 要点をまとめておく。	
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第1章 民法の親族法 親族法のまとめを行い, 小テストを実施する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	法定相続について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。 ・主要判例について, 最高裁判所のホームページ等で調べておく。	
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第2章 民法の相続法 法定相続について概説する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	遺言相続について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。	
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第2章 民法の相続法 遺言相続について概説する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	法定相続と遺言相続について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、要点をまとめておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第2章 民法の相続法 相続法のまとめを行い、小テストを実施する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	「委任契約」と「代理」について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第3章 委任契約・代理・任意後見契約 任意後見契約を理解する上で必須の概念である「委任契約」と「代理」について解説する。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	任意後見契約について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第3章 委任契約・代理・任意後見契約 成年後見制度の大きな柱のひとつである任意後見契約について説明する。併せて小テストを実施する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	法定後見制度について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第4章 自然人、法定後見制度 権利能力、意思能力、行為能力の3つの概念を整理したうえで、後見人等の選任や職務について解説する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	法定後見制度について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第4章 自然人、法定後見制度 後見人等の同意権・取消権、代理権について検討する。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	法定後見制度について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、要点をまとめておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第4章 自然人、法定後見制度 行為能力に係る制度としての法定後見制度(成年後見、保佐、補助)のまとめを行い、小テストを実施する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	「成年後見関係事件の概況」について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第5章 成年後見制度・補遺、日常生活自立支援事業 「任意後見契約」と「法定後見制度」の優先関係、「成年後見関係事件の概況」など、いくつかの論点を補足する。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日常生活自立支援事業や成年後見制度利用支援事業について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第5章 成年後見制度・補遺、日常生活自立支援事業 日常生活自立支援事業と成年後見制度利用支援事業について解説する。併せて小テストを実施する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	家庭裁判所の役割について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第6章 権利擁護に係る組織・団体 権利擁護に係る組織や団体について整理する。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	法制度についての正確な理解に基づいて、権利擁護活動を実践できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第6章 権利擁護に係る組織・団体 権利擁護という観点から「児童虐待防止法」「高齢者虐待防止法」「障害者虐待防止法」の三法を取り上げて、横断的な比較を行う。併せて小テストを実施する。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域福祉と包括的支援体制		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	武田 真澄	実務経験とその関連資格	特別養護老人ホームの介護職員、生活相談員、施設ケアマネを経験し医療法人と社会福祉協議会の地域包括支援センターで主任ケアマネジャーとして勤務。現在は居宅介護支援事業所の管理者でケアマネ業務を行っている。社会福祉士・主任介護支援専門員資格			
《授業科目における学習内容》						
社会福祉士・精神保健福祉士ともに共通の国家試験科目です。欧米・日本の歴史から地域福祉理論を学び、コミュニティソーシャルワークについての理解を深めましょう。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「地域福祉と包括的支援体制」 中央法規出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
自身の住む地域の広報や地域福祉計画を読んでみる 地域ニュースを収集する 地域の社会資源を調べる						
《履修に当たっての留意点》						
1.2年生で実践したボランティア活動を振り返り、科目との連動性を感じて下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	包括的支援体制の考え方について説明できるようになる。	テキスト		教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	民生委員制度の変遷と、現在の役割について説明できるようになる。	テキスト		教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	民生委員・児童委員、保護司			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的企業の役割について理解を説明できるようになる。	テキスト		教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	福祉コミュニティビジネスと企業の社会貢献			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニティソーシャルワークの代表的な考え方について説明できるようになる。	テキスト		教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	コミュニティソーシャルワーク			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域アセスメントの意義・目的について説明できるようになる。	テキスト		教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	地域アセスメント、チームアプローチ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	住民参加の形態と役割について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	専門職と住民、住民の参加と方法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルサポートネットワークの考え方について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	ソーシャルサポートネットワーク		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種及び多機関協働の意義と実際について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	地域共生の実現に向けた多機関協働		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会資源の種類と開発について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	社会資源の活用・調整・開発、税制と助成金		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	アウトリーチの必要性と方法について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	アウトリーチ、ニーズの把握		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健・医療・福祉・介護の連携の課題について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	地域トータルケアシステム		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉サービスの評価の概要と具体的な方法について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	福祉サービスの評価方法と実際		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	災害支援に関する法制度について理解を深め、災害後の生活課題について自身の考えを述べることができるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	災害時における総合的かつ包括的な支援体制		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本と海外の地域福祉を比較し、それぞれの課題について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	海外の考え方(イギリス・アメリカ)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割について説明できるようになる。	テキスト	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	地域福祉と包括的支援体制の課題と展開		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	ソーシャルワークの理論と方法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202教室
担 当 教 員	丸野 弘敦	実務経験とその関連資格	【丸野 弘敦】高齢者施設にて6年間相談員として従事。 保有資格:社会福祉士・初任者研修・福祉用具専門員・社会福祉士実習指導者			
《授業科目における学習内容》						
<p>ソーシャルワーカーという専門職としての実践能力を養うことを大きな目標とし、援助者が有すべき基本的な理念を具体的に学んでいく。後半は、支援のプロセスを学び、それぞれの段階での留意点を理解し、「援助とは何か」をテーマに学びを深めていく。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>教科書以外の啓発図書などを読み、ソーシャルワークの知識や価値観などを深めていく。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>ボランティア実践とリンクをさせていき、ソーシャルワークの知識や価値を深めていく努力をしましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメントツールの役割について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	面接の目的、面接に用いる技術と構造、総合的で多面的な問題の捉え方、得るべき情報と視覚化できるアセスメントツール、面接で得た情報の使い方			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	インターベンションの意義・目的について理解できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	介入のターゲット、介入の戦略、介入の技法			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果測定法について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	モニタリング方法、有効性の検証を行う効果測定方法			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロセス評価とアウトカム評価について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	プロセス評価とアウトカム評価			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション技術について説明できるようになる	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション技術			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	グループワーク実践を通じてネゴシエーションの意義について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	グループワークの実践原則、交渉		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	カンファレンスの意義、目的、展開方法について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	カンファレンスの意義、目的、展開方法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例研究の目的と意義について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ケーススタディ～事例研究の目的と意義～		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討の方法と留意点について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ケーススタディ～方法と留意点～		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例分析の目的と意義について、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	事例分析(事例分析の目的と意義)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例分析の方法と留意点を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	事例分析(事例分析の方法と留意点)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	児童福祉分野のジェネリックソーシャルワークについて説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際(事例学習児童福祉分野)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者福祉分野のジェネリックソーシャルワークについて説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際(事例学習高齢者福祉分野)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉分野のジェネリックソーシャルワークについて説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際(事例学習障害者福祉分野)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士が実践するジェネリックソーシャルワークの意義・目的について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	総括		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	ソーシャルワークの理論と方法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期 木曜1限	教室名	1202教室
担 当 教 員	丸野 弘敦	実務経験とその関連資格	【丸野 弘敦】高齢者施設にて6年間相談員として従事。 保有資格:社会福祉士・初任者研修・福祉用具専門員・社会福祉士実習指導者			
《授業科目における学習内容》						
<p>ソーシャルワーカーという専門職としての実践能力を養うことを大きな目標とし、援助者が有すべき基本的な理念を具体的に学んでいく。後半は、支援のプロセスを学び、それぞれの段階での留意点を理解し、「援助とは何か」をテーマに学びを深めていく。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>教科書以外の啓発図書などを読み、ソーシャルワークの知識や価値観などを深めていく。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>ボランティア実践とリンクをさせていき、ソーシャルワークの知識や価値を深めていく努力をしましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	ソーシャルワーカーが準ずる原理原則について説明できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	ソーシャルワーカーが準ずる原則				
第2回	授業を通じての到達目標	コミュニケーションと面接技術について理解できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションと面接技術				
第3回	授業を通じての到達目標	援助構造と援助関係を説明できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	援助構造と援助関係				
第4回	授業を通じての到達目標	援助関係の質と自己覚知について説明できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	援助関係の質と自己覚知				
第5回	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発について説明できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルアクションの必要性と方法論について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルアクションの必要性と方法論		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ネットワークの形成(目的と意義)について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ネットワークの形成(目的と意義)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ネットワークの形成(方法論)について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ネットワークの形成(方法論)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	アウトリーチの意義と目的を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	アウトリーチの意義と目的		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	潜在的ニーズへの働きかけについて、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	潜在的ニーズへの働きかけ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ジェネラリストソーシャルワークと生活モデルを説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ジェネラリストソーシャルワークと生活モデル		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	状況の中の人について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	状況の中の人		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人と環境の交互作用について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	人と環境の交互作用		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	収集した情報をもとに、エコマップを作成できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	エコマップの意義		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	対等な関係形成と本人の意欲を引き出すための協働作業を行う契約の役割について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	対等な関係形成と本人の意欲を引き出すための協働作業を行う契約の役割		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1201/1204教室
担 当 教 員	井上 和樹／原田 理恵	実務経験とその関連資格	【井上 和樹】総合病院でMSWとして勤務後し、現在は地域包括支援センターの社会福祉士として従事			
《授業科目における学習内容》						
<p>相談援助における基本技術を学習するとともに、いろいろな場面において、クライアントの支援に必要な制度、フォーマルサービス、インフォーマルサービスなどの知識も伝えていきます。また、実践にも対応できるよう事例を活用しながらいろいろな場面を想定した実技演習を繰り返し行います。演習を通じて各種ソーシャルワーク機能を習得します。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ソーシャルワーク演習(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
ニュースや新聞等で福祉施策、児童、高齢者、障害者制度の改正や動向に目を向ける。						
《履修に当たっての留意点》						
社会福祉士として必要な諸制度、面接技術等を実際の現場で応用できるようわかりやすく伝えます。また、演習では個々の面接時の技術について癖や良い点悪い点など確認します。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	面接の意義や目的、技術について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	対人援助の基本技術			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	傾聴・共感・支持の理解を深め、インテーク面接時の基本姿勢について実践できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	基本的応答技法			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	自己理解と他者理解について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	人を理解する。人の心を理解する			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	非言語コミュニケーションについて説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	非言語コミュニケーション			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活困窮の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	事例検討【生活困窮】(ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の集結と事後評価、アフターケア)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 生活困窮の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【生活困窮】(アウトリーチ、チームアプローチ、ネットワークワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクション)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 認知症高齢者の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【認知症高齢者】(ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の集結と事後評価、アフターケア)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 認知症高齢者の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【認知症高齢者】(アウトリーチ、チームアプローチ、ネットワークワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクション)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 災害時支援の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【災害時支援】(ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の集結と事後評価、アフターケア)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 災害時支援の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【災害時支援】(アウトリーチ、チームアプローチ、ネットワークワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクション)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 障害者支援の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【障害者支援】(ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の集結と事後評価、アフターケア)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 障害者支援の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【障害者支援】(アウトリーチ、チームアプローチ、ネットワークワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクション)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 医療機関における支援の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【医療機関における支援】(ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の集結と事後評価、アフターケア)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 医療機関における支援の事例検討を行い、ソーシャルワークの機能について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	事例検討【医療機関における支援】(アウトリーチ、チームアプローチ、ネットワークワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクション)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 各場面に応じたソーシャルワーク機能の役割や効果について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
	各コマにおける授業予定	総括		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	レクリエーション入門		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 火曜3限	教室名	601教室/体育室
担 当 教 員	吉野 正子	実務経験とその関連資格	老人保健施設にて機能訓練に基づく音楽レクリエーションを指導。音楽療法士の監修の元、回想法を取り入れレクリエーションワーカーとして15年勤務。その他、各地イベント出展、児童レクリエーション、高校生居場所カフェの支援などを行う。			
《授業科目における学習内容》						
レクリエーション援助は周囲の協力がなぜ大切なのかを学び、参加者の健康状態を把握、声なき声をひろうサブリーダーの重要性を理解する。 援助者としての立場を学び、レクリエーションを通じて協調性を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
科目実技試験、提出物70% 出席点20% 平常点(提出物)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜、資料を配布						
《授業外における学習方法》						
各回季節ごとに授業を進めるので、十二節季、各節分や旬、音楽などを調べ、それに合ったレクリエーションを考えておく。授業内で述べる時間を作るので発言の心の準備をしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
1月から12月までのレクリエーションを各回で月づつ進め季節行事への強みを養う。レクリエーションを通じて現場が最も欲しい物を手に入れられるので、社会に出て現場で苦手とされるレクリエーションを強みとする人材は長く生きられる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アイスブレーキングについて説明できるようになる。	半年分のレク計画書(授業内容)を配布 ノート	学生間でのアイスブレーキングを実施、今日から新生活にてドキドキしたままで良いので心の準備は不要、半年の変化を見る	
		各コマにおける授業予定	①ストレッチ、②他己紹介、③手指の体操など動き回らずにできるレクリエーションを通じてアイスブレーキングを支援、④1年生になったら(パネルシアター)平常点の重要性、他者の失敗を笑わない、エールを送る、支援者の身になってレクをするなどの説明をする			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、1月はどんな季節か、日本行事、食について考えられるようになる。	今日実施したレク内容を簡単なレク計画書にして板書をするため、ノート必須	1月はどのような行事があるのか自分なりの意見を考える。 例:正月、七草がゆ、書初め、成人式、出始め式	
		各コマにおける授業予定	①もしかめ8421体操→アレンジ、②春が来た、③365歩のマーチ歌体操(上肢、下肢、手指)、④おせち料理クイズ(頭脳)、⑤都道府県ビンゴ→アレンジ、⑥何ビンゴがあるか提案してもらった中から一つ実演			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、2月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート用意 CDデッキ プリント配布	2月はどのような行事があるのか自分なりの意見を考える。 例:節分、バレンタインデー、祝日2つ	
		各コマにおける授業予定	①鬼ペットボトル倒し、②九字(1,刀印の結び方と九字切り、2,新聞紙を棒状にし刀にみためての九字切り)、③クロネコのタンゴ、④魚へんクイズ(鬼は鯛が苦手という事からの関連づけ)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、5月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート用意 折り紙(赤・緑)	5月はどのような行事があるのか、季節の歌、旬の食材も調べておく	
		各コマにおける授業予定	①コーラス対決(こいのぼりVS背くらべ)、②母の日企画(折り紙カーネーション→宿題:おうちの人に渡す又はバイト先、友人などお世話になっている人に渡す)、③お馬の親子			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、3月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	ノート CDデッキ	3月レク、春レクについて発言の心準備をしておく。 季節感ないレクも良い。 アレンジの方法もあればよい。	
		各コマにおける授業予定	①コーラス対決(雪やこんこVS春が来た→アレンジ)、②花咲じいVS金太郎)、③ひなまつりを歌う→アレンジ、④ひなまつり難読漢字クイズ、⑤トイレトペーパー相撲大会・春場所、⑥卒業式の歌(仰げば尊し、蛍の光)、⑦卒業式の話			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、4月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート持参 CDデッキ	4月はどのような行事があるのか、二十四節季もあわせて調べておく。発言の心準備をしておく。
	各コマにおける授業予定	①花(歌体操)、②むすんでひらいて(字ぬきゲーム、手あそび)、③1年生になったら(パネルシアター)			
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、6月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート持参	6月はどのような季節か、有名人の誕生日、歌謡曲、昔流行した歌も良い。
	各コマにおける授業予定	①コーラス対決(雨ふりVS鳩ぼっぼ)、②輪唱:カエル→アレンジ(ネコ)、③グラグラ傘の玉入れ、④キーワード曲当てクイズ			
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、7月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート持参 CDデッキ	7月はどのような季節か、暑さ、熱中症対策含めどの様にレクリエーション援助を進行すると良いか考えておく。
	各コマにおける授業予定	①五文字でつなぐ歌リレー対決:海、②さんずいへんクイズ(海の日にちなんで)、③ソーラン節、④七夕を歌う、⑤七夕の短冊をかく			
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、8月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート持参 CDデッキ	前回同様、暑さ対策をする上で、サブリーダーが気を付ける事を考えておく。 8月レクの準備。
	各コマにおける授業予定	①山の日:富士山歌体操(上肢・手指機能)、②祝日あてクイズ、③折り紙(ひまわり、あさがお、すいか)、④キャンプレク(ピヨピヨさん、ハレルヤ)			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、9月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート持参 つまようじ 折り紙	季節の事、身体的・精神的な効果も調べておく。 9月レクの予習。
	各コマにおける授業予定	①つまようじ入れ:折り紙、クラフトレクリエーション(手指機能)、②くの一の一手裏剣を折る→③投げる 実技試験の班決め、計画書の書き方を説明 宿題:つまようじ入れをおうちの人に渡す			
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、10月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート持参 おみくじ CDデッキ	実技試験で行うレクリエーションを考えておく。 引き続き、10月レクの予習。
	各コマにおける授業予定	お月見の歌①でたでた月が(肩こり体操)、②炭坑節(盆おどり)、ふるさと、③歌体操、④おみくじ作り レクリエーション計画書を書いてもらい、提出			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい11月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート持参 六文銭わなげ 先週のおみくじ CDデッキ	季節のないレクリエーションも良い。 引き続き、11月レクの予習。
	各コマにおける授業予定	①先週のおみくじを引く、②大阪冬の陣わなげ、③たきび、歌体操、④おみくじレクリエーション計画書に基づいて各班何をするか発表、順番決め			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	季節行事を通して季節を感じてもらい、12月はどんなレクがあるのかを知り、考えを述べられるようになる。	各自ノート持参 CDデッキ	季節関係なくいつでもできるレクリエーションも良い。 引き続き、12月レクの予習。
	各コマにおける授業予定	x'masソング(①ジングルベル、②赤鼻のトナカイ、③きよこの夜)鈴、④もういっつ寝るとお正月 レク計画書の最終チェック、再提出があるならここで			
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実技テスト 他者の行うレクリエーション援助に協力できるようになる。	各自ノート持参 CDデッキ	自分の出番でない時も協力態勢で参加する。
	各コマにおける授業予定	5組:レクリエーション実技、各自感想や内容を書く(ノート)、評価			
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実技テスト 他者の行うレクリエーション援助に協力できるようになる。	各自ノート持参 CDデッキ	自分の出番でない時も協力態勢で参加する。
	各コマにおける授業予定	5組:レクリエーション実技、各自感想や内容を書く(ノート)、評価			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1201/1202教室
担 当 教 員	武田 真澄/山田 健太	実務経験と その関連資格	【武田 真澄】特別養護老人ホームの介護職員、生活相談員、施設ケアマネを経験し医療法人と社会福祉協議会の地域包括支援センターで主任ケアマネジャーとして勤務。現在は居宅介護支援事業所の管理者でケアマネ業務を行っている。社会福祉士・主任介護支援専門員資格 [山田 健太]総合病院にてMSWとして勤務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
<p>相談援助における基本技術を学習するとともに、いろいろな場面において、クライアントの支援に必要な制度、フォーマルサービス、インフォーマルサービスなどの知識も伝えていきます。また、実践にも対応できるよう事例を活用しながらいろいろな場面を想定した実技演習を繰り返し行います。演習を通じて各種ソーシャルワーク機能を習得します。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>ソーシャルワーク演習(中央法規)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>ニュースや新聞等で福祉施策、児童、高齢者、障害者制度の改正や動向に目を向ける。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>社会福祉士として必要な諸制度、面接技術等を実際の現場で応用できるようわかりやすく伝えます。また、演習では個々の面接時の技術について癖や良い点悪い点など確認します。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(チームアプローチを促進するコーディネート)①			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(チームアプローチを促進するコーディネート)②			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(判断能力が不十分な人の権利擁護)①			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(判断能力が不十分な人の権利擁護)②			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(NPO法人による地域福祉の基盤形成から実際の多文化共生の為の実践)①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(NPO法人による地域福祉の基盤形成から実際の多文化共生の為の実践)②		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(子どもの居場所づくりの取り組み)①		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(子どもの居場所づくりの取り組み)②		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(生活困窮者レスキュー事業)①		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(生活困窮者レスキュー事業)②		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(生活困窮者支援・就労支援プログラム)①		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(生活困窮者支援・就労支援プログラム)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(「地域貢献福祉講座」「防災訓練」開催)①		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて、地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉の計画、組織化、社会資源の活用・調整・開発、サービスの評価について説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例演習(「地域貢献福祉講座」「防災訓練」開催)②		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	児童福祉領域の事例検討およびスーパービジョンを通じてソーシャルワークの理解を深め、説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく
		各コマにおける授業予定	事例研究、事例検討及びスーパービジョン(児童福祉領域、高齢者福祉領域、障害者福祉領域、地域福祉領域、医療福祉領域、生活困窮領域、その他領域)		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1201/1202教室
担 当 教 員	武田 真澄/山田 健太	実務経験と その関連資格	【武田 真澄】特別養護老人ホームの介護職員、生活相談員、施設ケアマネを経験し医療法人と社会福祉協議会の地域包括支援センターで主任ケアマネジャーとして勤務。現在は居宅介護支援事業所の管理者でケアマネ業務を行っている。社会福祉士・主任介護支援専門員資格 [山田 健太]総合病院にてMSWとして勤務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
<p>相談援助における基本技術を学習するとともに、いろいろな場面において、クライアントの支援に必要な制度、フォーマルサービス、インフォーマルサービスなどの知識も伝えていきます。また、実践にも対応できるよう事例を活用しながらいろいろな場面を想定した実技演習を繰り返し行います。演習を通じて各種ソーシャルワーク機能を習得します。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>ソーシャルワーク演習(中央法規)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>ニュースや新聞等で福祉施策、児童、高齢者、障害者制度の改正や動向に目を向ける。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>社会福祉士として必要な諸制度、面接技術等を実際の現場で応用できるようわかりやすく伝えます。また、演習では個々の面接時の技術について癖や良い点悪い点など確認します。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	児童福祉領域の事例検討およびスーパービジョンを通じてソーシャルワークの理解を深め、説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	事例研究、事例検討及びスーパービジョン(児童福祉領域、高齢者福祉領域、障害者福祉領域、地域福祉領域、医療福祉領域、生活困窮領域、その他領域)			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者福祉領域の事例検討およびスーパービジョンを通じてソーシャルワークの理解を深め、説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	事例研究、事例検討及びスーパービジョン(児童福祉領域、高齢者福祉領域、障害者福祉領域、地域福祉領域、医療福祉領域、生活困窮領域、その他領域)			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者福祉領域の事例検討およびスーパービジョンを通じてソーシャルワークの理解を深め、説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	事例研究、事例検討及びスーパービジョン(児童福祉領域、高齢者福祉領域、障害者福祉領域、地域福祉領域、医療福祉領域、生活困窮領域、その他領域)			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉領域(身体)の事例検討およびスーパービジョンを通じてソーシャルワークの理解を深め、説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	事例研究、事例検討及びスーパービジョン(児童福祉領域、高齢者福祉領域、障害者福祉領域、地域福祉領域、医療福祉領域、生活困窮領域、その他領域)			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉領域(身体)の事例検討およびスーパービジョンを通じてソーシャルワークの理解を深め、説明できるようになる。	配布資料	ソーシャルワーク科目を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	事例研究、事例検討及びスーパービジョン(児童福祉領域、高齢者福祉領域、障害者福祉領域、地域福祉領域、医療福祉領域、生活困窮領域、その他領域)			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	ソーシャルワークの理論と方法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	丸野 弘敦	実務経験とその関連資格	【丸野 弘敦】高齢者施設にて6年間相談員として従事。 保有資格:社会福祉士・初任者研修・福祉用具専門員・社会福祉士実習指導者			
《授業科目における学習内容》						
<p>ソーシャルワーカーという専門職としての実践能力を養うことを大きな目標とし、援助者が有すべき基本的な理念を具体的に学んでいく。後半は、支援のプロセスを学び、それぞれの段階での留意点を理解し、「援助とは何か」をテーマに学びを深めていく。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>教科書以外の啓発図書などを読み、ソーシャルワークの知識や価値観などを深めていく。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>ボランティア実践とリンクをさせていき、ソーシャルワークの知識や価値を深めていく努力をしましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの記録の意義を説明できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	後期授業の確認/ソーシャルワークの記録の意義と目的				
第2回	授業を通じての到達目標	記録に使用する種類や活用の方法を理解できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの記録の種類とICT機器の活用				
第3回	授業を通じての到達目標	ケアマネジメントにおける原則、対象を説明できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	ケアマネジメントの原則				
第4回	授業を通じての到達目標	ケアマネジメントにおける過程を理解し、説明できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規2021年2月1日)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	ケアマネジメントの意義・プロセス				
第5回	授業を通じての到達目標	グループワークにおける源流を理解し、目的や目標について説明できるようになる。		最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	グループワークの意義/目的と目標				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	グループのプロセスや発達段階を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	グループワークの展開過程		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニティワークを通じて、地域の課題や社会資源の必要性を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	コミュニティワークの意義/展開		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニティワークの変遷を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	コミュニティワークの理論的系譜とモデル		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルアドミニストレーションの意味、定義を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルアドミニストレーション		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルアクションの意味や意義を理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルアクションの概念		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スーパービジョンの概念を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	スーパービジョンの意義、目的		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	主な支援の方法、関わり方やその効果について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	スーパービジョンの方法、機能		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	コンサルテーションとスーパービジョンの違い理解し、目的を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	コンサルテーションの意義		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通し、包括的な視点で関わることの大切さを学び、援助者に求められる視点を理解できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	コンサルテーションの方法/事例を通しての援助の視点		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期・後期を通して、ソーシャルワークの理論の理解と、関わる方法について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版（中央法規）	テキストの該当する章を読んでおく
		各コマにおける授業予定	後期授業まとめ		

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時間	前期 月曜3限	教室名	601教室
担 当 教 員	牧 雪枝	実務経験と その関連資格	病院にて臨床検査技師、臨床病理士として勤務。主業務は生理機能検査、病理学検査などを行っていた。 デイサービスにて社会福祉士として勤務。主業務は相談業務などを行っていた。		

《授業科目における学習内容》

加齢により起こる心身の変化と現代社会が生み出す心の病を関係づけ説明する事ができる。
 周囲から理解が乏しい病気や心身が不自由な方々に求められるノーマラゼーションについて述べる事ができる。
 日常生活を送る上での健康問題や不安を持つクライアントへの援助に必要な手法を述べる事ができる。

《成績評価の方法と基準》

科目終了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規

《授業外における学習方法》

教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
 配布資料の暗記に努めておくこと。
 授業終了時に示す課題を実施しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

チームケア実現のために必要な他職種連携、それを可能にするには医学の知識は不可欠である。
 国家試験の合格はもちろんのこと、日常生活における健康問題にも対応していけるだけの知識を習得できるよう頑張りましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 心身の加齢・老化の違い、老年症候群について説明できるようになる。	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておくこと。 配布資料の暗記に努めておくこと。
	各コマにおける授業予定	ライフステージにおける心身の変化と健康課題について講義 『心身の加齢・老化』を理解する。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 国際障害分類(ICIDH)と国際生活機能分類(ICF)の違いについて説明できるようになる。	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 配布資料の暗記に努めておくこと。 授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	健康および疾病の捉え方について講義 『国際生活機能分類(ICF)』を理解する。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 人体を構成する器官系と臓器等の名称について説明できるようになる。	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 配布資料の暗記に努めておくこと。 授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	身体構造と心身機能について講義 『人体各部位の名称』を理解する。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 各器官系と構成する臓器等の機能について説明できるようになる。	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 配布資料の暗記に努めておくこと。 授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	身体構造と心身機能について講義 『器官系と臓器の役割』を理解する。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 病変の成立機序について説明できるようになる。	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 配布資料の暗記に努めておくこと。 授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程について講義 『疾病の発生原因と成立機序』を理解する。		

授業の方法					
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の概要とリハビリテーション治療について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの概念と範囲について講義『リハビリテーションの対象と方法』を理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	各感染症の特徴と認知症や神経難病について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーションについて講義『感染症、神経疾患・認知症・高次脳機能障害』を理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管疾患と虚血性心疾患や高血圧について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーションについて講義『脳血管疾患、心疾患』を理解する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖尿病や肺炎およびCOPDについて説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーションについて講義『内分泌・代謝疾患、呼吸器疾患』を理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎不全や各消化器疾患の特徴について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーションについて講義『腎・泌尿器疾患、消化器・肝胆膵疾患』を理解する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨粗鬆症、膠原病、視覚障害について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーションについて講義『骨・関節疾患、血液・免疫・アレルギー疾患、眼科疾患・視覚障害』を理解する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害、歯や口腔の疾患について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーションについて講義『耳鼻咽喉科疾患・聴覚障害・平衡機能障害、口腔疾患』を理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	更年期障害、精神疾患の診断と入院制度、肢体不自由や知的障害の特徴について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーションについて講義『婦人科・産科、精神疾患・精神障害・発達障害、小児疾患・肢体不自由・知的障害』を理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に特有な状態や症状と疾患、生活習慣病と悪性腫瘍の概要について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーションについて講義『高齢者に多い疾患、生活習慣病、内部障害、悪性腫瘍と緩和ケア』を理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症・難病、高齢者保健、精神保健対策について説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規 ・配布資料 	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。配布資料の暗記に努めておくこと。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	公衆衛生について講義『健康増進と保健医療対策』を理解する。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	三好 弘之	実務経験とその関連資格	日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程修了 論文テーマ:アルコール依存者支援の地域ネットワークの展開と衰退について 精神保健福祉士として精神科医療機関にてソーシャルワークを実践			
《授業科目における学習内容》						
本講義では、過去6年間の過去問題・模擬問題を中心に講師が選択した問題10～15問を解いていただき、特に各問題の不正解の箇所を徹底的に講義する。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度及び貢献度)10点 出席点20点 定期試験70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
毎回、講師が資料を配布するので、解答時は各自が持参している参考書で並行して調べていただく。						
《授業外における学習方法》						
毎回、授業開始時に配布する過去問題等の資料を復習する。						
《履修に当たっての留意点》						
講義形式の授業とは違い、毎回、過去・模擬問題を解いていただき、国家試験に慣れていただく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。	
	各コマにおける授業予定		「現代社会と福祉」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。	
	各コマにおける授業予定		「現代社会と福祉」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。	
	各コマにおける授業予定		「地域福祉の理論と方法」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。	
	各コマにおける授業予定		「地域福祉の理論と方法」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。	
	各コマにおける授業予定		「福祉行政と福祉計画」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	「福祉行財政と福祉計画」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	「福祉行財政と福祉計画」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	「社会保障」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	「社会保障」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	「権利擁護と成年後見制度」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	「権利擁護と成年後見制度」に対する過去・模擬問題を解いていただき、後に講師が解説する。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	配付された過去・模擬問題10～15問中の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総括とポイント		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	後期授業において配付された過去・模擬問題の80%の正解率をとれるようになる。	配布資料	配布資料の過去・模擬問題を改めて解き復習する。
		各コマにおける授業予定	前期試験（後期授業で配付した過去・模擬問題から解答率の低かった50問を選択）		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	山田 健太	実務経験と その関連資格	【実務経験】 病院(急性期・回復期)医療ソーシャルワーカー、通所リハビリテーション支援相談員 【資格】 社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
国家試験問題、模擬問題を用いて、苦手科目を克服できるよう基礎から応用まで段階的に学習をすすめる。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「見て覚える!社会福祉士国試ナビ」中央法規出版 「社会福祉士国家試験のためのレビューブック」 必要に応じて資料等を配布します。						
《授業外における学習方法》						
毎回、授業の前後で確認問題を行うので、しっかり予習復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
問題を解きながら、ただ解くだけではなく、関連事項を一緒にまとめられるように整理しながら学習を進めてほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現代社会と福祉に関する問題から出題傾向を把握し、確実に理解できるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	福祉国家の登場と福祉国家の変容			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会保障制度の概況に関する問題から出題傾向を把握し、確実に理解できるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	ナショナルミニマム、ベーシックインカム、ワークフェアと生活保護制度			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	低所得者に対する支援と生活保護制度に関する問題から出題傾向を把握し、確実に理解できるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	絶対的貧困と相対的貧困			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉政策の資源に関する問題を通して、出題傾向を把握し、知識の定着を図れるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	資源の配分に関する諸理論、福祉ミックス論、福祉多元主義、現物給付と現金給付、バウチャー制度			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉政策におけるニーズ(必要)に関する問題を通して、出題傾向を把握し、知識の定着を図れるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	ブラッドショウのニーズの分類、岡村重夫の7つのニーズ、三浦文雄の貨幣、非貨幣ニーズ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	一問一答形式の問題を解き、知識の確認ができるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	総合問題演習		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉サービスに係る組織や団体についての理解し、整理することができるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	社会福祉法人、医療法人、NPO法人		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉サービス評価に関する問題を通して、確実に答えられるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	プロセス評価、アウトカム評価、第3者評価、顧客満足度		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会保障関係費に関する問題を通して、確実に動向を答えられるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	他の諸国と比べた、日本の社会支出の特徴、部門別の支出の変遷		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験に備え、高頻出問題が理解できるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	総合問題演習		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢、医療、地域、障害、児童の各分野の福祉計画の特徴を整理し、それぞれの関係性を理解できるようになる(1)	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	福祉計画と行政組織、財源との関係		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢、医療、地域、障害、児童の各分野の福祉計画の特徴を整理し、それぞれの関係性を理解できるようになる(2)	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	福祉計画と行政組織、財源との関係		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢、医療、地域、障害、児童の各分野の福祉計画の特徴を整理し、それぞれの関係性を理解できるようになる(3)	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	福祉計画と行政組織、財源との関係		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各自の苦手分野の一問一答形式の問題を解き、知識の確認を行えるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	総合演習問題		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各自の苦手分野の一問一答形式の問題を解き、知識の確認を行えるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	総合問題演習		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	保健医療と福祉	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	山田 健太	実務経験とその関連資格	【実務経験】 病院(急性期・回復期)医療ソーシャルワーカー、通所リハビリテーション支援相談員 【資格】 社会福祉士		

《授業科目における学習内容》

- 1.ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向
- 2.保健医療にかかわる政策、制度、サービス
- 3.保健医療領域における社会福祉士の役割と連携・協働
- 4.保健医療の課題をもつ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方

《成績評価の方法と基準》

定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉 (中央法規)

《授業外における学習方法》

保健医療サービスに関連するニュースや新聞記事、雑誌記事、書籍などで情報を取り入れるようにしてください。

《履修に当たっての留意点》

社会福祉士国家試験科目でもあるため、積極的に関連科目(医学概論、社会保障論など)と並行して学習すること。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療分野において社会福祉士が求められている役割について学び、意義を考えることができるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書に目を通す。 (復習) 保健医療分野の社会福祉士の役割・機能などの意義を考える。
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 保健医療分野の社会福祉士の役割とは		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療分野において支援の対象となる病をもつ人とその家族への理解を深められるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第1章に目を通す。 (復習) 保健医療に課題をもつ人の理解を深める。
	各コマにおける授業予定	保健医療の課題をもつ人の理解①		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療分野において支援の対象となる病をもつ人とその家族への理解を深められるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第1章に目を通す。 (復習) 保健医療に課題をもつ人の理解を深める。
	各コマにおける授業予定	保健医療の課題をもつ人の理解①		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	医療倫理と倫理的課題について理解し、福祉における倫理との違いを説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第2章に目を通す。 (復習) 医療倫理やその課題に関するニュースや新聞等を閲覧する。
	各コマにおける授業予定	医療倫理①		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	患者本人への意思決定支援について理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第2章に目を通す。 (復習) アドバンス・ケア・プランニングを復習し、自分の家族にあてはめて理解を深める。
	各コマにおける授業予定	医療倫理②		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の社会における疾病構造が理解でき、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第3章に目を通す。 (復習) 日本の疾病構造について、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	保健医療の動向①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	疾病構造を踏まえた医療提供体制や、疾患を抱えることによる福祉的課題について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第3章に目を通す。 (復習) 医療提供体制について理解する。第1章「病者理解」と絡めて福祉的課題を理解する。
		各コマにおける授業予定	保健医療の動向②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療に関する政策・制度を理解し、全体像を把握し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第4章に目を通す。 (復習) 保健医療に関する政策・制度の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療サービスの提供体制について理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第4章に目を通す。 (復習) 自分が暮らす町の保健医療サービスについて、調べてみる。
		各コマにおける授業予定	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療費保障について理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第4章に目を通す。 (復習) 医療保険の種類について、詳しく調べてみる。
		各コマにおける授業予定	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識③		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療領域における専門職の役割を理解し、多職種連携・協働のあり方について、自分の考えをまとめるられるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第5章に目を通す。 (復習) 専門職の役割と連携について、自分の考えをまとめる。
		各コマにおける授業予定	保健医療領域における専門職の役割と連携①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療機関にあるソーシャルワーカーが所属する部門において、組織内の管理体制やスーパービジョンについて理解し、その必要性を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第5章に目を通す。 (復習) 専門職の役割と連携について、自分の考えをまとめる。
		各コマにおける授業予定	保健医療領域における専門職の役割と連携②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療ソーシャルワーカー業務指針を理解し、保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第6章に目を通す。 (復習) 医療ソーシャルワーカー業務指針を見直す。
		各コマにおける授業予定	保健医療領域における支援の実際①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療領域における支援の実際を事例を通して学び、実践の場で必要な知識・技術を説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 教科書の第6章に目を通す。 (復習) ソーシャルワーク演習と絡めて、復習を行う。
		各コマにおける授業予定	保健医療領域における支援の実際②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療に関する制度やサービス体系を理解し、保健・医療と福祉の包括的支援のために必要な連携・協働について自身の考えを交えたうえで説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑤ 保健医療と福祉(中央法規)	(予習) 後期で扱った項目を確認する。 (復習) 期末試験に向けての学習を行う。
		各コマにおける授業予定	保健医療と福祉のまとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	ソーシャルワークの基盤と専門職		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 月曜2限	教室名	601教室
担 当 教 員	藤本 健	実務経験とその関連資格	障害者の支援施設で相談員として勤務。 精神保健福祉士を保有			
《授業科目における学習内容》						
本科目では、ソーシャルワークの形成過程や相談援助の理念を学ぶことで、社会福祉の対象について理解をし、社会福祉専門職として求められる役割について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点10点(授業貢献度)、出席点20点、定期テスト70点(100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
教科書は事前に読んでおくことが望ましいです。ボランティアや地域活動で出会う専門職の専門性について、授業での学びと照らし合わせて理解をしておいてください。						
《履修に当たっての留意点》						
社会福祉専門職となるための最も基礎的な科目です。授業で学びを深め、自分が目指す専門職像の構築を望みます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉の対象について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	授業の概要と導入/社会福祉と生活問題			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	社会福祉士・精神保健福祉士の法的位置付け、事例から社会福祉実践を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの概念～ソーシャルワーク専門職のグローバル定義～			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義と旧定義との違いについて説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの概念～全米ソーシャルワーカー協会定義、IFSW旧定義～			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワーカーの倫理綱領について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの基盤となる考え方～ソーシャルワーカーの倫理綱領～			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	救貧法、慈善組織協会について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの形成過程① 救貧法、慈善組織協会		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	セツルメント運動、世界恐慌について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの形成過程② セツルメント運動、世界恐慌		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	診断主義、ケースワーク、グループワークについて説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの形成過程③ 診断主義、ケースワーク、グループワーク		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学モデル、社会モデルについて説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの形成過程④ 医学モデル、社会モデル		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの統合化について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの形成過程⑤ ソーシャルワークの統合化		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	貧民の生活実態、慈善事業について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの形成過程⑥ 貧民の生活実態、慈善事業		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会事業、方面委員について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの形成過程⑦ 社会事業、方面委員		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	行政改革から現在の福祉のあり方について理解できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの形成過程⑧ 社会福祉主事、臨調行革、在宅福祉		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの価値、権利擁護について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの倫理① ソーシャルワークの価値、権利擁護		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの倫理綱領、行動規範について説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座① ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規)	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの倫理② ソーシャルワークの倫理綱領、行動規範		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (5) 時間(単位)
対 象 学 年	2年、3年		学期及び曜時限	通年 2年から3年前期	教室名	
担 当 教 員	山田 健太* 原田 理恵	実務経験とその関連資格	*【実務経験】 病院(急性期・回復期)医療ソーシャルワーカー、通所リハビリテーション支援相談員 【資格】社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。地域における多様な福祉ニーズや多職種・多機関協働、社会資源の開発などの実態を学ぶ。以下の到達目標について、各実習施設における実習計画書に沿って、実習指導者による指導を受け理解を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
2年次の9月と3年次の6月に、機能の異なる2か所以上の指定実習施設で、60時間(1日7.5時間×8日間)と180時間以上(1日7.5時間×24日間)、合計240時間の実習を行います。相談援助業務の一連の過程の学習に加え、複数の機関・事業所や地域との関係性を含めた包括的な支援について学習する。実習態度や取り組み姿勢と実習日誌に付随する提出物(40%)、実習配属先の総合評価(60%)をもとに評価します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ソーシャルワーク実習・ソーシャルワーク実習指導(中央法規)ほか、授業内で適宜プリント配布します。						
《授業外における学習方法》						
ボランティア実習や現場でのアルバイト、当事者の方との交流等でできるだけ福祉の現場を知っておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
実習時間以外にも、記録の作成、実習課題に対する自宅学習を行い、実習に活かしていくことが必要である。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	1) ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養えるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①クライアント等と人間関係を形成するための基本的なコミュニケーションをとることができる。その人や状況に合わせて挨拶や自己紹介、声かけを行う②その人や状況に合わせて言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションを使い分ける			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	2) 支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上のニーズについて把握できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①クライアント等との信頼関係を構築する際の留意点や方法を説明することができる②クライアント等に対して実習生としての立場や役割を理解できるよう説明する			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	3) 生活上の課題(ニーズ)に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施及び評価を行えるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①バイオ・サイコ・ソーシャルの側面からクライアント等の客観的、主観的情報を系統的に収集する ②クライアント、グループ、地域住民などのアセスメントを実施し、ニーズを明確にする			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	4) 施設・機関等が地域社会の中で果たす役割を実践的に理解できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①地域アセスメントの意義や方法、活用可能なツールについて説明することができる ②地域住民の生活の状況と地域及び地域を取り巻く環境との関係を説明することができる			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	5) 利用者やその関係者への権利擁護ならびにエンパワメントを含む実践を行い評価できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①クライアント及び多様な人々を理解し、尊厳や価値観、信条、生活習慣等を尊重した言動をとる ②クライアント及び多様な人々の持つ「強み・力」(ストレングス)と課題を把握する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式 授業を通じての到達目標	6) 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解ができるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	①事例検討会・ケースカンファレンス等に出席し、出席している各機関、施設の視点や連携するための工夫等について学ぶ ②職種ごとの業務の特徴やアセスメントの視点の違いについて学ぶ		
第7回	実習形式 授業を通じての到達目標	7) 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解ができるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	実習施設の事業やサービスを中心として、分野横断的・業種横断的な社会資源との関係性について明らかにし説明する		
第8回	実習形式 授業を通じての到達目標	8) 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	実習施設の理事会や評議員会など、意思を決定する組織体の機能について説明する		
第9回	実習形式 授業を通じての到達目標	9) 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任を理解できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	実習指導者の業務を観察し、クライアントや地域住民、関係者との関わり場面、問題解決過程、チームアプローチ場面を振り返り、倫理判断に基づく行為を発見、抽出し、説明する		
第10回	実習形式 授業を通じての到達目標	10) ソーシャルワーク実践に求められる技術を実践の場で理解できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	アウトリーチ、ネットワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクションの具体的な場面に気づき、説明する		
第11回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	中川 るみ	実務経験と その関連資格	社会福祉士・精神保健福祉士・保護司 ・大阪地方検察庁勤務(京都・奈良兼務)			
《授業科目における学習内容》						
社会福祉士の専門科目で問われる重要語句について理解を深める						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
厚生労働白書を中心に学習をすすめます。 必要に応じて資料等を配布します。						
《授業外における学習方法》						
重要語句の理解のため、参考書に加筆する、要点をまとめるなど工夫をしてください。						
《履修に当たっての留意点》						
個別指導中心に、確実な知識の定着を図る。そして、社会福祉士国家資格合格のために必要な新しいデータ、法律、制度の改正に対応する。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	厚生労働白書について説明できるようになる①	テキスト ノート		ノートを作り、問題を解 き、誤っている箇所を指 摘し、正答に書き直すこ とができる。
		各コマに おける 授業予定	問題演習			
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	厚生労働白書について説明できるようになる②	テキスト ノート		ノートを作り、問題を解 き、誤っている箇所を指 摘し、正答に書き直すこ とができる。
		各コマに おける 授業予定	問題演習			
第 3 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	厚生労働白書について説明できるようになる③	テキスト ノート		ノートを作り、問題を解 き、誤っている箇所を指 摘し、正答に書き直すこ とができる。
		各コマに おける 授業予定	問題演習			
第 4 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	厚生労働白書について説明できるようになる④	テキスト ノート		ノートを作り、問題を解 き、誤っている箇所を指 摘し、正答に書き直すこ とができる。
		各コマに おける 授業予定	問題演習			
第 5 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	厚生労働白書について説明できるようになる⑤	テキスト ノート		ノートを作り、問題を解 き、誤っている箇所を指 摘し、正答に書き直すこ とができる。
		各コマに おける 授業予定	問題演習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者白書について説明できるようになる①	テキスト ノート	テキストの該当箇所を読んでおく(福祉サービスの組織と経営)
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者白書について説明できるようになる②	テキスト ノート	テキストの該当箇所を読んでおく(福祉サービスの組織と経営)
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者白書について説明できるようになる③	テキスト ノート	テキストの該当箇所を読んでおく(高齢者に対する支援と介護保険制度)
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者白書について説明できるようになる④	テキスト ノート	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができる。
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者白書について説明できるようになる⑤	テキスト ノート	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができる。
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行政白書について説明できるようになる①	テキスト ノート	テキストの該当箇所を読んでおく(児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度)
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行政白書について説明できるようになる②	テキスト ノート	テキストの該当箇所を読んでおく(就労支援サービス)
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行政白書について説明できるようになる③	テキスト ノート	テキストの該当箇所を読んでおく(就労支援サービス)
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行政白書について説明できるようになる④	テキスト ノート	テキストの該当箇所を読んでおく(更生保護制度)
		各コマにおける授業予定	問題演習		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行政白書について説明できるようになる⑤	テキスト ノート	テキストの該当箇所を読んでおく(更生保護制度)
		各コマにおける授業予定	問題演習		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	ソーシャルワークの理論と方法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 水曜3現	教室名	601教室
担 当 教 員	丸野 弘敦	実務経験とその関連資格	【丸野 弘敦】高齢者施設にて相談員として従事。 保有資格:社会福祉士・初任者研修・社会福祉士実習指導者			
《授業科目における学習内容》						
<p>ソーシャルワーカーという専門職としての実践能力を養うことを大きな目標とし、援助者が有すべき基本的な理念を具体的に学んでいく。後半は、支援のプロセスを学び、それぞれの段階での留意点を理解し、「援助とは何か」をテーマに学びを深めていく。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>教科書以外の啓発図書などを読み、ソーシャルワークの知識や価値観などを深めていく。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>ボランティア実践とリンクをさせていき、ソーシャルワークの知識や価値を深めていく努力をしましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの構成要素を具体的に説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	科目の概要について/ソーシャルワークの構成要素(価値・知識・技術)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの仕事や、ソーシャルワーカーが所属する機関を具体的に理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの仕事と分類 ソーシャルワーカーが所属する組織			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークを行うにあたり構造とニーズを理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワークの構造 ソーシャルワークにおけるニーズ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人と環境が相互に作用しているという「システム理論」が理解できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	人と環境について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	ワーカーとクライアント、その他援助にまつわる構造とその援助関係が理解でき、ワーカー自身(自分自身)を見つめることが重要ということが理解できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版 (中央法規)	テキストの該当する章を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	援助構造と援助関係 援助関係の質と自己覚知			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	クライアント(利用者)を理解するにあたり、バイスティックの7原則を理解することができるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	利用者理解 バイスティックの7原則から学ぶ①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	クライアント(利用者)を理解するにあたり、バイスティックの7原則を理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	バイスティックの7原則から学ぶ②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	クライアント(利用者)を理解するにあたり、バイスティックの7原則を理解し、自分の言葉で説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	バイスティックの7原則から学ぶ③		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	クライアントに援助を行う視点として、エンパワメントならびにストレングスの視点を理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	エンパワメントとストレングスの視点を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	相談援助を進めていく展開方法を理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	相談援助の展開過程の流れ ケース発見		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	クライアントの情報収集を行い、ニーズを探り出すという流れを理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	受理面接(インテーク) 問題把握からニーズ確定まで		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	クライアントのニーズを総合的に分析し、目標設定、計画立案という流れを理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	アセスメントから支援標的・目標設定まで プランニング		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	立案した支援計画を実施し、その中から新たな情報収集ならびに課題を分析するという流れを理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	支援の実施 モニタリング/再アセスメント		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援の終結の後、その支援について評価を行い、アフターケアを行うという流れを理解し、説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	支援の終結と効果測定、評価、アフターケア		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイスティックの7原則と支援のプロセスについて口頭で説明できるようになる。	最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワークの理論と方法 初版(中央法規)	テキストの該当する章を 読んでおく
		各コマにおける授業予定	後期授業のまとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (5) 時間(単位)
対 象 学 年	2年、3年		学期及び曜時限	通年 2年から3年前期	教室名	
担 当 教 員	山田 健太* 原田 理恵	実務経験と その関連資格	*【実務経験】 病院(急性期・回復期)医療ソーシャルワーカー、通所リハビリテーション支援相談員 【資格】社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。地域における多様な福祉ニーズや多職種・多機関協働、社会資源の開発などの実態を学ぶ。以下の到達目標について、各実習施設における実習計画書に沿って、実習指導者による指導を受け理解を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
2年次の9月と3年次の6月に、機能の異なる2か所以上の指定実習施設で、60時間(1日7.5時間×8日間)と180時間以上(1日7.5時間×24日間)、合計240時間の実習を行います。相談援助業務の一連の過程の学習に加え、複数の機関・事業所や地域との関係性を含めた包括的な支援について学習する。実習態度や取り組み姿勢と実習日誌に付随する提出物(40%)、実習配属先の総合評価(60%)をもとに評価します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ソーシャルワーク実習・ソーシャルワーク実習指導(中央法規)ほか、授業内で適宜プリント配布します。						
《授業外における学習方法》						
ボランティア実習や現場でのアルバイト、当事者の方との交流等でできるだけ福祉の現場を知っておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
実習時間以外にも、記録の作成、実習課題に対する自宅学習を行い、実習に活かしていくことが必要である。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	1) ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養えるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①クライアント等と人間関係を形成するための基本的なコミュニケーションをとることができる。その人や状況に合わせて挨拶や自己紹介、声かけを行う②その人や状況に合わせて言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションを使い分ける			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	2) 支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上のニーズについて把握できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①クライアント等との信頼関係を構築する際の留意点や方法を説明することができる②クライアント等に対して実習生としての立場や役割を理解できるよう説明する			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	3) 生活上の課題(ニーズ)に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施及び評価を行えるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①バイオ・サイコ・ソーシャルの側面からクライアント等の客観的、主観的情報を系統的に収集する ②クライアント、グループ、地域住民などのアセスメントを実施し、ニーズを明確にする			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	4) 施設・機関等が地域社会の中で果たす役割を実践的に理解できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①地域アセスメントの意義や方法、活用可能なツールについて説明することができる ②地域住民の生活の状況と地域及び地域を取り巻く環境との関係を説明することができる			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	5) 利用者やその関係者への権利擁護ならびにエンパワメントを含む実践を行い評価できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入	
		各コマにおける授業予定	①クライアント及び多様な人々を理解し、尊厳や価値観、信条、生活習慣等を尊重した言動をとる ②クライアント及び多様な人々の持つ「強み・力」(ストレングス)と課題を把握する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式 授業を通じての到達目標	6) 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解ができるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	①事例検討会・ケースカンファレンス等に出席し、出席している各機関、施設の視点や連携するための工夫等について学ぶ ②職種ごとの業務の特徴やアセスメントの視点の違いについて学ぶ		
第7回	実習形式 授業を通じての到達目標	7) 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解ができるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	実習施設の事業やサービスを中心として、分野横断的・業種横断的な社会資源との関係性について明らかにし説明する		
第8回	実習形式 授業を通じての到達目標	8) 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	実習施設の理事会や評議員会など、意思を決定する組織体の機能について説明する		
第9回	実習形式 授業を通じての到達目標	9) 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任を理解できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	実習指導者の業務を観察し、クライアントや地域住民、関係者との関わり場面、問題解決過程、チームアプローチ場面を振り返り、倫理判断に基づく行為を発見、抽出し、説明する		
第10回	実習形式 授業を通じての到達目標	10) ソーシャルワーク実践に求められる技術を実践の場で理解できるようになる。	実習要綱 実習分野に係る教科書	実習指導配布資料、教科書の復習と実習日誌記入
	各コマにおける授業予定	アウトリーチ、ネットワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクションの具体的な場面に気づき、説明する		
第11回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	前期 金曜4限	教室名	1104教室
担 当 教 員	中川 るみ	実務経験と その関連資格	社会福祉士・精神保健福祉士・保護司 ・大阪地方検察庁勤務(京都・奈良兼務)			
《授業科目における学習内容》						
我が国独自の更生保護制度の概念を学び、理念を理解する。 更生保護の地域における役割と意義を考え、保護観察官の体的な仕事、所掌事務などを中心に、社会福祉士国家試験合格基準を超える理解を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席点 20% 平常点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
更生保護法人 日本更生保護協会発行:更生保護便覧14 模擬問題集 レジュメ						
《授業外における学習方法》						
事前に過去問を解き、理解できない部分をまとめておく						
《履修に当たっての留意点》						
数年分の過去問を解き、傾向と対策を一緒に考えていきましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	更生保護の沿革について説明できるようになる。	テキスト レジュメ		模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	更生保護の歴史について説明できるようになる。	テキスト レジュメ		模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	更生保護の機構について説明できるようになる。	テキスト レジュメ		模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	更生保護の機関について説明できるようになる。	テキスト レジュメ		模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	更生保護の民間の担い手について説明できるようになる。	テキスト レジュメ		模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	更生保護の民間の担い手について説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	仮釈放の仕組みについて説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	生活環境の調整について説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	保護観察のあらましについて説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自立更生促進センターについて説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	就労支援の取り組みについて説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	更生緊急保護の措置について説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療観察制度について説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各制度と概要について説明できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	練習問題と最終確認を行い、疑問点を解消できるようになる。	テキスト レジュメ	模擬問題の解説を復習し、疑問点を整理しておく
		各コマにおける授業予定	問題演習と解答解説		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	中谷 幸子	実務経験とその関連資格	生活保護法に基づく更生施設にて生活指導員、老人福祉法に基づくケアハウスにて施設長他に従事。介護支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
国家試験問題、模擬問題を用いて、苦手科目を克服できるよう基礎から応用まで段階的に学習をすすめる。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「見て覚える！社会福祉士国試ナビ2022」、「見て覚える！精神保健福祉士国試ナビ2022」中央法規出版 「社会福祉士国家試験のためのレビューブック 2022」 必要に応じて資料等を配布します。						
《授業外における学習方法》						
毎回、授業に関連する模擬問題を行うので、しっかり復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
問題を解きながら、ただ解くだけではなく、関連事項を一緒にまとめられるように整理しながら学習を進めてほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者分野、障害者分野、児童分野等それぞれの相談支援機関について整理し、理解できるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	各分野のマネジメント機関			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	児童虐待防止法、高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法等を整理し、虐待実態調査等で現状を把握できるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	各分野の虐待対策			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者等が入院生活、地域生活で必要となる権利擁護事業について整理し、理解できるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	権利擁護事業			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者が就労するための関連法、制度について整理し、理解できるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	障害者の就労			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	2つの法律の共通点、相違点を整理し、理解を深めることができるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	介護保険と障害者総合支援法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	我が国の自殺の状況を把握するとともに、対策等について理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	自殺対策			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	我が国のニートの実態把握を行うとともに、子ども・若者育成支援推進法、地域若者サポートステーション等の役割について理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	子ども・若者育成支援／ひきこもり対策／いじめ防止対策			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの歴史と実践アプローチを整理し、理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	主なソーシャルワークのアプローチ			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	医療及び保護、民法上の親族、権利擁護事業を理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	地域生活支援			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	社会保障制度、生活保護制度を理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	地域生活支援			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	各分野の福祉計画の特徴を整理し、それぞれの関係性を理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	福祉計画			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	総合問題演習①			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	総合問題演習②			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	総合問題演習③			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	総合問題演習④			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	国際福祉論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	秋季	教室名	
担 当 教 員	辻林 厚	実務経験と その関連資格	高齢者施設、障害者の就労支援施設で相談員・支援員として勤務。 社会福祉士／精神保健福祉士を保有 精神保健福祉士実習指導担当教員研修受講			
《授業科目における学習内容》						
アメリカ研修プログラムを通し、アメリカにおける大学の学習及び福祉・医療関連施設等の実態を体験し、幅広い視野を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 30点 海外研修振り返りレポート 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ						
《授業外における学習方法》						
アメリカの福祉・医療制度について事前学習を深めておきましょう。 アメリカが抱える独自の課題、日本と共通する課題について調べておきましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
現地の大学での講義はすべて英語で行われます。翻訳担当者は常駐していますが、より学びを深めるために、日常的な英会話、福祉・医療の専門的な語句の英語表記について事前に学習しておきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	米国の社会福祉の歴史、現状、展望、職務範囲について説明できるようになる。	レジュメ		アメリカの福祉・医療制度について事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	米国の社会福祉の変遷			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	米国における若者の薬物、ギャング、暴力問題の現状と警察及び社会福祉士の関わりについて説明できるようになる。	レジュメ		講義内容を振り返りまとめておく
		各コマにおける授業予定	アメリカの社会福祉士			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカの精神科医療について説明できるようになる。	レジュメ		見学内容を振り返りまとめておく
		各コマにおける授業予定	施設見学(パットン州立精神科病院)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカの精神科医療について説明できるようになる。	レジュメ		見学内容を振り返りまとめておく
		各コマにおける授業予定	施設見学(パットン州立精神科病院)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカの精神科医療について説明できるようになる。	レジュメ		見学内容を振り返りまとめておく
		各コマにおける授業予定	施設見学(パットン州立精神科病院)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	老年学と米国の現状について説明できるようになる。	レジュメ	講義内容を振り返りまとめておく
		各コマにおける授業予定	アメリカの高齢者事情		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外のボランティア活動について説明できるようになる。	レジュメ	講義内容を振り返りまとめておく
		各コマにおける授業予定	ボランティア		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	現地の大学生のボランティア活動の実際について説明できるようになる。	レジュメ	講義内容を振り返りまとめておく
		各コマにおける授業予定	ボランティア		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	英語での発表を通して、語学力が向上し、コミュニケーション能力が養われる。	発表用資料	英語での発表練習をしておく
		各コマにおける授業予定	学生発表		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	英語での発表を通して、語学力が向上し、コミュニケーション能力が養われる。	発表用資料	英語での発表練習をしておく
		各コマにおける授業予定	学生発表		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	異文化におけるコミュニケーションツールの活用ができるようになる。	文化交流用物品 (書道セットなど)	分化交流で使用する物品準備をする
		各コマにおける授業予定	文化交流会準備		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	異文化におけるコミュニケーションツールの活用ができるようになる。	文化交流用物品 (書道セットなど)	分化交流で使用する物品準備をする
		各コマにおける授業予定	文化交流会準備		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカの学生との交流を深め、非言語でのコミュニケーションが図れるようになる。	文化交流用物品 (書道セットなど)	分化交流で使用する物品準備をする
		各コマにおける授業予定	文化交流会		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカの学生との交流を深め、非言語でのコミュニケーションが図れるようになる。	文化交流用物品 (書道セットなど)	分化交流で使用する物品準備をする
		各コマにおける授業予定	文化交流会		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカでのソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	講義内容を振り返りまとめておく
		各コマにおける授業予定	振り返り		

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	ソーシャルワーク演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 水曜4限	教室名	601/1101教室
担 当 教 員	丸野 弘敦/向出 佳司	実務経験と その関連資格	【丸野 弘敦】高齢者施設にて6年間相談員として従事。 保有資格:社会福祉士・初任者研修・福祉用具専門員・社会福祉士実習指導者			

《授業科目における学習内容》

社会の実例や福祉事例に基づいて、コミュニケーション演習やグループワークを通し、ソーシャルワークの価値と知識・技術を楽しみながら学ぶこと。そして「自己覚知」を深め「共感的な理解」の大切さを学ぶ。演習しながら相談援助にかかる基礎的な価値(倫理)・実践で使用される知識を学習(復習)することが期待される。

《成績評価の方法と基準》

学期末試験。中間レポート。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考図書:最新・社会福祉士養成講座⑫ ソーシャルワーク演習

《授業外における学習方法》

社会の時事にも関心をもち、積極的に情報収集すること。他の科目での学びも事例に関係する分野では、しっかり復習をすること。

《履修に当たっての留意点》

主体的に授業に参加し積極的に自分の意見を発言していくこと。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	自己理解・他者理解、介入の相談援助の枠組みについて説明できるようにする。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	今までに学んだソーシャルワークの知識を確認しておく事。
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、相談援助を考える。		
第2回	授業を通じての到達目標	自己表現と他人紹介のワークを通し、自分の理解を深められるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
	各コマにおける授業予定	自己覚知と他者理解のワーク		
第3回	授業を通じての到達目標	自分と他人の社会福祉を学ぶ動機を知り、自己覚知を深めることができるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
	各コマにおける授業予定	自己覚知と他者理解のワーク		
第4回	授業を通じての到達目標	新型出生前診断の是非を考え、ソーシャルワーク倫理を説明できるようにする。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
	各コマにおける授業予定	生命倫理と多様な考え方を理解するワーク		
第5回	授業を通じての到達目標	コミュニケーションプロセスを知り、相談援助における非言語的コミュニケーションの大切さについて説明できるようにする。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションの基本		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	日常会話と相談援助との違いを理解し、面接技法の基本要素について説明できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
		各コマにおける授業予定	面接技法の基本①		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	マイクロカウンセリング技法を学び、理論的に説明できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
		各コマにおける授業予定	面接技法の基本②		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	ロールプレイングにて非支持的技法と指示的な技法との違いを理解し、実践できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
		各コマにおける授業予定	面接技法の基本③		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	私と友達のエコマップを作成し作成方法を学ぶこと、自分のエコマップを作成してみることで、自分の環境を視覚的に理解できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
		各コマにおける授業予定	ジェノグラムとエコマップの作成方法		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	人が物語で物事を理解している事を知り、自分自身の価値観が対話によって変化する事を理解できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
		各コマにおける授業予定	私のライフストーリー		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	相談援助プロセスの留意点を学び、説明できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
		各コマにおける授業予定	インテークとアセスメント①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	インテーク場面を想定したロールプレイングにて、相談援助のインテーク時におけるポイントを学び、説明できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
		各コマにおける授業予定	インテークとアセスメント②		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	アセスメントを目的とした面談場面を想定したロールプレイングにて、相談援助のアセスメント時におけるポイントを学び、説明できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	前回の授業時に示す課題に取り組んでおくこと
		各コマにおける授業予定	インテークとアセスメント③		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	相談援助演習で学んだことを振り返り、自己覚知と共感的な理解の大切さについて説明できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	今期の授業で学んだ事を振り返っておく。
		各コマにおける授業予定	相談援助演習の振り返りとまとめ①		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	相談援助演習で学んだことを振り返り、自己覚知と共感的な理解の大切さについて説明できるようになる。	教員の用意したレジュメ・ワークシート	今期の授業で学んだ事を振り返っておく。
		各コマにおける授業予定	相談援助演習の振り返りとまとめ②		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	業界研究ゼミナール		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1.2年		学期及び曜時限	後期	教室名	601/1202教室ほか
担 当 教 員	辻林 厚/中谷 幸子 /山田 健太	実務経験と その関連資格	辻林:社会福祉士 高齢者施設、障害者支援施設にて生活相談員、生活支援員として従事 中谷:社会福祉士 生活保護法に基づく更生施設にて生活指導員として従事 山田:社会福祉士 医療機関にて医療ソーシャルワーカーとして従事			
《授業科目における学習内容》						
<p>児童、高齢、障害、医療、精神保健、行政など各領域のソーシャルワークで必要となる知識、技術について少人数のゼミ形式で学びを深める。 ゼミ生同士でディスカッションを重ね、プレゼンテーション能力を向上させる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 レポート課題 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ						
《授業外における学習方法》						
施設見学を実施し、利用者、他職種の理解を図る。						
《履修に当たっての留意点》						
将来活躍したいと考える領域をあらかじめ絞っておくこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワーカーを目指す意義・目的について説明できるようになる。	レジュメ	ソーシャルワークの基盤と専門職を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について説明できるようになる。	レジュメ	選択した専門領域についての法的根拠を調べておく	
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について説明できるようになる。	レジュメ	前回のディスカッションでの内容を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について説明できるようになる。	レジュメ	前回のディスカッションでの内容を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について説明できるようになる。	レジュメ	前回のディスカッションでの内容を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設スタッフと意見交換を実施し、施設の役割、利用者及び配属されている専門職について説明できるようになる。	レジュメ	ホームページを参考に、見学する施設の情報を調べておく。
		各コマにおける授業予定	施設見学		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設スタッフと意見交換を実施し、施設の役割、利用者及び配属されている専門職について説明できるようになる。	レジュメ	ホームページを参考に、見学する施設の情報を調べておく。
		各コマにおける授業予定	施設見学		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設の役割、利用者及び配属されている専門職について、自身の考えも交えて述べることができるようになる。	レジュメ	施設見学での記録を振り返っておく。
		各コマにおける授業予定	施設見学振り返り		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について詳しく説明できるようになる。	レジュメ	施設見学振り返りで出たゼミ生の意見を振り返っておく
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について詳しく説明できるようになる。	レジュメ	前回のディスカッションでの内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション用に活動内容をまとめることができるようになる。	レジュメ	前回までのディスカッションでの内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	報告会準備		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション用に活動内容をまとめることができるようになる。	レジュメ	パワーポイントの操作を復習しておく
		各コマにおける授業予定	報告会準備		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	活動内容をまとめ、決められた時間でのプレゼンテーションができるようになる。	レジュメ	パワーポイントの操作を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ゼミ報告会		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	活動内容をまとめ、決められた時間でのプレゼンテーションができるようになる。	レジュメ	パワーポイントの操作を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ゼミ報告会		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	共通するソーシャルワーク、領域ごとの専門的なソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	これまでのゼミ活動で出た意見を記録にまとめておく
		各コマにおける授業予定	振り返り		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	現代の精神保健の課題と支援		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生 精神保健専攻		学期及び曜時限	後期	教室名	1202教室
担 当 教 員	三好 弘之	実務経験と その関連資格	精神科、心療内科で勤務。ケースワークを行う。 精神保健福祉士保有			
《授業科目における学習内容》						
精神保健の基本的考え方や、現代の精神保健分野の動向と課題を理解する。 精神保健の諸問題の実際を生活環境ごとに理解し、精神保健福祉士及びその他専門機関・関係職種との役割と連携について理解する。 現代の精神保健分野の動向と課題を理解し、精神保健福祉士の役割について説明できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度及び貢献度)10点 出席点20点 定期試験70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「現代の精神保健の課題と支援」 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
毎回、授業開始時に配布する資料の復習をし、関心を深めるために事例や文献などを集める。						
《履修に当たっての留意点》						
事前に教科書を読んで予習をしておいてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチについて説明できるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	前期振り返り			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	災害時の精神保健とその対策について説明できるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ(災害時の精神保健とその対策)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	犯罪被害者の精神保健について説明することができるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ(犯罪被害者の精神保健)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	自殺予防について理解し、説明できるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ(自殺予防)①			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	自殺予防について精神保健福祉士の役割を踏まえて、説明することができるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ(自殺予防)②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	貧困問題と精神保健について説明することができるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ(貧困問題と精神保健)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健の視点から見た日本の労働環境について、説明することができるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(日本の労働環境)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健の視点から職場メンタルヘルスの概要について、説明することができるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(職場メンタルヘルスの概要)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健の視点から見た産業精神保健とその対策について、説明することができるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(産業精神保健とその対策)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健の視点から見た職場内の問題を解決するための機関及び関係法規について、説明することができるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(職場内の問題を解決するための機関及び関係法規)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健に関する発生予防と対策について説明できるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神保健に関する発生予防と対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域精神保健に関する偏見・差別等の課題について説明できるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	地域精神保健に関する偏見・差別等の課題		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健に関する専門職種と行政機関の役割及び連携について説明できるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神保健に関する専門職種と行政機関の役割及び連携		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	諸外国の精神保健活動の現状及び対策について説明できるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	諸外国の精神保健活動の現状及び対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健に関する関係法規について説明できるようになる。	教科書 配布資料	事前に教科書を読んで予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	総括		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	前期 金曜2限	教室名	
担 当 教 員	牧 雪枝	実務経験とその関連資格	病院にて臨床検査技師、臨床病理士として勤務。主業務は生理機能検査、病理学検査などをおこなっていた。 デイサービスにて社会福祉士として勤務。主業務は相談業務などを行っていた。			
《授業科目における学習内容》						
社会福祉士国家試験に向けて、「医療保険サービス」の理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア) その他随時、講義にてレジュメを配布						
《授業外における学習方法》						
問題を解くことになれるよう、過去問を積極的に解いていってください						
《履修に当たっての留意点》						
理解の難しい問題は繰り返し説き、解説を読み込んで下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療保険制度の沿革に関する問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	医療保険制度の問題演習①			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国民医療費に関する問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	医療保険制度の問題演習②			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高額療養費制度に関する問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	医療保険制度の問題演習③			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	長期高額疾病に関する問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	医療保険制度の問題演習④			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	診療報酬制度の概要に関する問題が解けるようになる①	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	診療報酬の問題演習①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	診療報酬の支払方式に関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	診療報酬の問題演習②			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	在宅医療、終末期医療を支援する診療報酬制度に関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	診療報酬の問題演習③			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	各種病院に関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	保健医療サービスの概要の問題演習①			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	診療所、助産所に関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	保健医療サービスの概要の問題演習②			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	保健医療対策に関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	保健医療サービスの概要の問題演習③			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	医療システムに関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	保健医療サービスの概要の問題演習④			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	医師の役割に関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	医療保険サービスにおける専門職の問題演習①			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	保健師、看護師の役割に関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	医療保険サービスにおける専門職の問題演習②			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	コメディカル専門職に関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	医療保険サービスにおける専門職の問題演習③			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	医療ソーシャルワーカーに関する問題が解けるようになる		社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	医療保険サービスにおける専門職の問題演習④			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	障害の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	向出 佳司	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
各種障害について理解する。 障害者及びその家族に対する支援のあり方について理解する。 障害者の方々とのコミュニケーションの技法を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業ごとにレジュメを配布						
《授業外における学習方法》						
ボランティア活動で関わる利用者の方々と積極的にコミュニケーションを図ってみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
障害の理解と合わせて、合理的配慮についても理解し、自信で意識した行動がとれるようにしましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	身体障害、知的障害、精神障害それぞれの定義について説明 できるようになる。	レジュメ配布	障害の種類について調 べておく	
		各コマに おける 授業予定	障害の定義			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	身体障害の定義について説明できるようになる。	レジュメ配布	身体障害について調べ ておく	
		各コマに おける 授業予定	身体障害の理解			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	身体障害がある方の生きづらさについて説明できるようになる。	レジュメ配布	身体障害について調べ ておく	
		各コマに おける 授業予定	身体障害体験			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	身体障害がある方への合理的配慮ができるようになる。	レジュメ配布	身体障害について調べ ておく	
		各コマに おける 授業予定	身体障害者からの語り			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	知的障害の定義について説明できるようになる。	レジュメ配布	知的障害について調べ ておく	
		各コマに おける 授業予定	知的障害の理解			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	知的障害がある方の生きづらさについて説明できるようになる。	レジュメ配布	知的障害について調べておく
		各コマにおける授業予定	知的障害体験		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	知的障害がある方への合理的配慮ができるようになる。	レジュメ配布	知的障害について調べておく
		各コマにおける授業予定	知的障害者からの語り		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害の定義について説明できるようになる。	レジュメ配布	精神障害について調べておく
		各コマにおける授業予定	精神障害の理解		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害がある方の生きづらさについて説明できるようになる。	レジュメ配布	精神障害について調べておく
		各コマにおける授業予定	精神障害体験		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害がある方への合理的配慮ができるようになる。	レジュメ配布	精神障害について調べておく
		各コマにおける授業予定	精神障害者からの語り		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発達障害の定義について説明できるようになる。	レジュメ配布	発達障害について調べておく
		各コマにおける授業予定	発達障害の理解		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発達障害がある方の生きづらさについて説明できるようになる。	レジュメ配布	発達障害について調べておく
		各コマにおける授業予定	発達障害体験		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発達障害がある方への合理的配慮ができるようになる。	レジュメ配布	発達障害について調べておく
		各コマにおける授業予定	発達障害者からの語り		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法を中心に、障害領域の法制度の概要を説明できるようになる。	レジュメ配布	障害者総合支援法について調べておく
		各コマにおける授業予定	我が国における障害者支援制度の概要		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	障害領域で必要となる合理的配慮の視点が身につく。	レジュメ配布	各種障害について振り返っておく
		各コマにおける授業予定	振り返り～障害者支援における社会福祉士の役割～		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	4年	学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	牧 雪枝	実務経験とその関連資格	病院にて臨床検査技師、臨床病理士として勤務。主業務は生理機能検査、病理学検査などをおこなっていた。 デイサービスにて社会福祉士として勤務。主業務は相談業務などを行っていた。		

《授業科目における学習内容》

人体の構造と機能及び疾病では、心身の変化を学び、それぞれに必要な援助方法を述べる事ができる。
保健医療サービスでは、医療保険や介護保険の仕組みおよび公費負担制度の概要を学び、具体的な保障内容を説明することができる。総合的に学ぶことより、様々な疾患の日常生活における問題点に気づき、必要な保健医療サービスを提案することができる。

《成績評価の方法と基準》

平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

- ・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』
- ・教科書:『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス』
- ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』

《授業外における学習方法》

教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。
授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

人体の構造と機能及び疾病と保健医療サービスの内容を関連づけて学び、国家試験の合格を目指し総合的な理解に努めましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	各年齢における身体の成長・発達について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める、また疑問点を整理しておくこと)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『人の成長・発達と老化』について理解する。		
第2回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	各年齢における精神の成長・発達について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『人の成長・発達と老化』について理解する。		
第3回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	老化に伴う身体の変化について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『人の成長・発達と老化』について理解する。		
第4回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	老化に伴う精神の変化について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『人の成長・発達と老化』について理解する。		
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	人体各部位の名称について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『身体構造と心身の機能』について理解する。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	人体各器官の構造について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『身体構造と心身の機能』について理解する。			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	人体各器官の機能について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『身体構造と心身の機能』について理解する。			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	生活習慣病の定義・悪性新生物の死亡率推移について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	心疾患の種類と治療・脳血管疾患の分類と特徴について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	高血圧の分類と予後・糖尿病の合併症と生活指導について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	呼吸器疾患(肺炎など)の特徴・消化器疾患(肝胆膵疾患など)の炎症について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	がんや血液疾患(貧血や白血病)・腎臓疾患(腎不全やネフローゼ症候群など)の特徴について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	泌尿器疾患(失禁)の分類・骨や関節の疾患(骨折や関節リウマチなど)の予後について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	目や耳の疾患(白内障や緑内障および難聴など)の特徴、難病の定義について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	感染症の種類と原因・神経疾患(パーキンソン病やALSなど)の特徴について説明することができるようになる。		・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	4年	学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	牧 雪枝	実務経験とその関連資格	病院にて臨床検査技師、臨床病理士として勤務。主業務は生理機能検査、病理学検査などをおこなっていた。 デイサービスにて社会福祉士として勤務。主業務は相談業務などを行っていた。		

《授業科目における学習内容》

人体の構造と機能及び疾病では、心身の変化を学び、それぞれに必要な援助方法を述べることができる。
保健医療サービスでは、医療保険や介護保険の仕組みおよび公費負担制度の概要を学び、具体的な保障内容を説明することができる。総合的に学ぶことにより、様々な疾患の日常生活における問題点に気づき、必要な保健医療サービスを提案することができる。

《成績評価の方法と基準》

平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

- ・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病』
- ・教科書:『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス』
- ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』

《授業外における学習方法》

教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。
授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

人体の構造と機能及び疾病と保健医療サービスの内容を関連づけて学び、国家試験の合格を目指し総合的な理解に努めましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回 講義形式	授業を通じての到達目標	先天疾患の定義・高齢者に多い疾患の種類と対策について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。		
第17回 講義形式	授業を通じての到達目標	終末期医療と緩和ケアの必要性と今後について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『疾病の概要』について理解する。		
第18回 講義形式	授業を通じての到達目標	発達障害の定義と種類・認知症の種類と特徴について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『障害の概要』について理解する。		
第19回 講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害の種類と症状および適切な対応について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『障害の概要』について理解する。		
第20回 講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの諸段階と四つの側面について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『リハビリテーション』について理解する。		

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標 ICIDHからICFへの変遷、ICFの背景因子と相互作用について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要』について理解する。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標 健康増進(プライマリヘルスケアやヘルスプロモーションなど)の概念と変遷について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『健康のとらえ方1』について理解する。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標 国民健康づくり(健康日本21第2次など)の対策内容について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『健康のとらえ方1』について理解する。		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標 労働衛生(ワークライフバランスなど)の必要性について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(人体の構造と機能及び疾病)の解答および解説 『健康のとらえ方1』について理解する。		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標 保健医療サービスとその構成要素(ひと・もの・かね・情報)について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 7 保健医療サービス』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(保健医療サービス)の解答および解説 『保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割』について理解する。		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標 保健医療政策による医療施設の機能・類型について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 7 保健医療サービス』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(保健医療サービス)の解答および解説 『保健医療サービスを提供する施設とシステム』について理解する。		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標 医療ソーシャルワーカーの歴史と業務の枠組みについて説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 7 保健医療サービス』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(保健医療サービス)の解答および解説 『保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割』について理解する。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標 保健医療サービスにおける各専門職の視点と役割の実際について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 7 保健医療サービス』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(保健医療サービス)の解答および解説 『保健医療サービスの専門職の役割』について理解する。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標 医療保険制度と診療報酬制度の概要について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 7 保健医療サービス』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(保健医療サービス)の解答および解説 『保健医療サービスの提供と経済的保障』について理解する。		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標 チームケア実現のための制度や連携方法と基礎知識について説明することができるようになる。	・教科書:『新・社会福祉士養成講座1 7 保健医療サービス』 ・教科書:『社会福祉士国家試験 模擬問題集』	教科書および配布資料の指定部分を事前に読んでおくこと。授業終了後に示す課題(社会福祉士国家試験模擬問題集の指定部分の解説を読み理解に努める。また疑問点の抽出と解決への努力など)を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	社会福祉士国家試験 模擬問題(保健医療サービス)の解答および解説 『保健医療サービスにおける専門職の連携と実践』について理解する。		

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)	専 門	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年	学 期 及 び 曜 時 限	前期 火曜3限	教 室 名	1104教室
担 当 教 員	有馬 早苗	実務経験と その関連資格	児童養護施設児童指導員、国立更生援護施設生活支援専門職、国立障害者リハビリテーションセンター更生訓練所主任相談判定専門職として主としてソーシャルワーク業務に従事する。社会福祉士、臨床心理士、公認心理師。		

《授業科目における学習内容》

社会福祉士国家試験において、共通科目の問題は広汎な知識力を必要とし、基礎的な問題読解能力が問われる分野でもある。カリキュラム編成上、1,2年次に履修を終了している科目が多く、十分な知識定着がなされないままに受験学年に至ることも多いことが課題である。本講義では、共通科目の中でも「現代社会と福祉」「社会保障」「低所得者に対する支援と生活保護制度」を取り上げ、少人数でのアクティブ・ラーニングにより横断的な知識の確認を行いつつ、社会福祉士国家試験過去問題の演習を重ねることでさらなる知識の定着を図ることができる。

《成績評価の方法と基準》

科目修了試験:70%、出席評価点:20%、平常評価点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集「社会福祉士国家試験 過去問解説集」中央法規出版
ユーキャン「書いて覚える!ワークノート」

《授業外における学習方法》

国家試験対策の効果を上げるためには準備学習と復習が欠かせない。3年次の国家試験対策でも経験したように自ら疑問点をもって講義に臨むことで、授業への積極的な参加が可能になる。また、授業中に解いた問題は必ず復習をし、知識の定着を図ることが重要である。その際にはただ単に正解を記憶するのではなく、選択肢の誤文を正文に修正して把握する等の能動的な作業が有効である。

《履修に当たっての留意点》

横断的な学習によってこれまでの知識が結びつきをもって立ち上がってくる。そのためにも自分の課題の把握が大切である。準備学習ー学習ー復習のサイクルをうまく循環させることが最終的な結果につながることから、まず、準備学習を万全にして、毎回の授業に臨んでほしい。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	昨年度の国家試験の出題傾向を把握し、今年度の国家試験に向けてモチベーションを高められるようになる。	「書いて覚える!ワークノート」自由国民社、「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および第34回社会福祉士国家試験問題	「書いて覚えるワークノート!」で、「現代社会と福祉」に関するキーワードを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	第33回社会福祉士国家試験問題「現代社会と福祉」を題材にして解答解説を行い、国家試験の出題傾向を把握する。		
第2回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	「現代社会と福祉」における「各国の社会福祉制度」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「現代社会と福祉」を解き、疑問点を確認しておく
	各コマにおける授業予定	「各国の社会福祉制度」に関する説明および第34回社会福祉士国家試験問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第3回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	「現代社会と福祉」における「日本の社会福祉の発展過程」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「現代社会と福祉」を解き、疑問点を確認しておく
	各コマにおける授業予定	「日本の社会福祉の発展過程」に関する説明および第33回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第4回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	「現代社会と福祉」における「福祉政策のニーズと資源」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「現代社会と福祉」を解き、疑問点を確認しておく
	各コマにおける授業予定	「福祉政策のニーズと資源」に関する説明および第32回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	「現代社会と福祉」における「福祉政策と構成要素」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「現代社会と福祉」を解き、疑問点を確認しておく
	各コマにおける授業予定	「福祉政策の構成要素」に関する説明および第29回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「社会保障」における「各国の歴史と現状」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	「2020年版書いて覚える！ワークノート」で、「社会保障」に関するキーワードを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	「各国の歴史と現状」に関する説明および第31回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「社会保障」における「年金保険制度」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「社会保障」を解き、疑問点を確認しておく
		各コマにおける授業予定	「年金保険制度」の概要に関する説明および第30回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行う。		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「社会保障」における「医療保険制度」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「社会保障」を解き、疑問点を確認しておく
		各コマにおける授業予定	「福祉政策の構成要素」に関する説明および第29回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「社会保障」における「労働保険制度」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「社会保障」を解き、疑問点を確認しておく
		各コマにおける授業予定	「福祉政策の構成要素」に関する説明および第28回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「社会保障」における「介護保険制度」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「社会保障」を解き、疑問点を確認しておく
		各コマにおける授業予定	「介護保険制度」に関する説明および第27回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「低所得者に対する支援と生活保護制度」における「公的扶助の概念と歴史」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	「2020年版書いて覚える！ワークノート」で、「低所得者に対する支援と生活保護制度」に関するキーワードを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	「公的扶助の概念と歴史」に関する説明および第33回社会福祉士国家試験問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「低所得者に対する支援と生活保護制度」における「生活保護制度」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「低所得者に対する支援と生活保護制度」を解き、疑問点を確認しておく
		各コマにおける授業予定	「生活保護制度」に関する説明および第34回社会福祉士国家試験問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「低所得者に対する支援と生活保護制度」における「生活保護の動向」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「低所得者に対する支援と生活保護制度」を解き、疑問点を確認しておく
		各コマにおける授業予定	「生活保護の動向」に関する説明および第33回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「低所得者に対する支援と生活保護制度」における「自立支援プログラム」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「低所得者に対する支援と生活保護制度」を解き、疑問点を確認しておく
		各コマにおける授業予定	「自立支援プログラム」に関する説明および第32回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「低所得者に対する支援と生活保護制度」における「低所得者対策」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	「社会福祉士国家試験過去問解説集」中央法規出版および社会福祉士国家試験問題	社会福祉士国家試験問題「低所得者に対する支援と生活保護制度」を解き、疑問点を確認しておく
		各コマにおける授業予定	「低所得者対策」に関する説明および第21回社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神医学と精神医療		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	畑 久 雄	実務経験と その関連資格	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎医学研修3年 ・精神科病院勤務で19年勤務 ・社会復帰施設理事、監事 			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害についての理解をふかめます。 ・精神障害(精神疾患)の種類、特徴が最も重要で、次に精神症状や対応など障害者目線で取り組みます。 ・基本用語、精神症状を覚えることに留意します。 						
《成績評価の方法と基準》						
科目終了成績 70% 出席評価 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
[精神医学と精神医療] 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容によって必要資料の配布を行う。 ・授業ごとにテスト形式でまとめを行い、期末テストの対象としても使用する。 						
《履修に当たっての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次は基本のマスターが重要です。単語、用語の意味を覚えましょう！ ・記憶より理解するように心がけてください。楽しく笑いのある教室にしましょう！ 						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	うつ病について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	うつ病、双極性障害についての講義			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経症性障害、ストレス関連障害について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	神経症性障害、ストレス関連障害についての講義			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理的障害について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群についての講義			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ障害について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	パーソナリティ障害についての講義			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害についての概念をICD、DSMに分けて説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書範囲を事前に読んでおく ・知的障害に関する資料を理解する 	
		各コマにおける授業予定	知的障害についての講義			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的発達障害について理解し、DSM-5ではどう表現されているかを説明できるようになる。	教科書 M-5の資料 DS	参考資料を理解する
		各コマにおける授業予定	DSM-5の神経発達症群、知的能力障害についての講義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	多動性障害。インターネット障害について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	参考資料を理解する
		各コマにおける授業予定	多動性障害、チック、インターネット障害に関する講義		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患薬物療法について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	精神疾患薬物療法と電気けいれん療法など身体療法に関する講義		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患の治療について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	精神療法と精神療法の種類に関する講義		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	外来診療、在宅医療、入院医療について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	外来診療、在宅医療、入院医療に関する講義		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神科治療と入院形態について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	精神科治療と入院形態に関する講義		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	インフォームドコンセントと隔離について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	インフォームドコンセントと隔離に関する講義		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神科救急医療システム、移送制度について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書範囲を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	精神科救急医療システム、移送制度に関する講義		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の役割と法制度の課題について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書、参考資料を事前にチェックしておくこと
		各コマにおける授業予定	精神医療の動向		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域の多職種連携・多機関連携における精神保健福祉士の役割について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	問題集の合格基準を目指す
		各コマにおける授業予定	精神医療と保健、福祉の連携の重要性		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	業界研究ゼミナール		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1,2年		学期及び曜時限	後期	教室名	601/1202教室ほか
担 当 教 員	辻林 厚/中谷 幸子 /山田 健太	実務経験と その関連資格	辻林:社会福祉士 高齢者施設、障害者支援施設にて生活相談員、生活支援員として従事 中谷:社会福祉士 生活保護法に基づく更生施設にて生活指導員として従事 山田:社会福祉士 医療機関にて医療ソーシャルワーカーとして従事			
《授業科目における学習内容》						
<p>児童、高齢、障害、医療、精神保健、行政など各領域のソーシャルワークで必要となる知識、技術について少人数のゼミ形式で学びを深める。 ゼミ生同士でディスカッションを重ね、プレゼンテーション能力を向上させる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 レポート課題 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ						
《授業外における学習方法》						
施設見学を実施し、利用者、他職種の理解を図る。						
《履修に当たっての留意点》						
将来活躍したいと考える領域をあらかじめ絞っておくこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワーカーを目指す意義・目的について説明できるようになる。	レジュメ		ソーシャルワークの基盤と専門職を復習しておく
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について説明できるようになる。	レジュメ		選択した専門領域についての法的根拠を調べておく
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について説明できるようになる。	レジュメ		前回のディスカッションでの内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について説明できるようになる。	レジュメ		前回のディスカッションでの内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について説明できるようになる。	レジュメ		前回のディスカッションでの内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設スタッフと意見交換を実施し、施設の役割、利用者及び配属されている専門職について説明できるようになる。	レジュメ	ホームページを参考に、見学する施設の情報を調べておく。
		各コマにおける授業予定	施設見学		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設スタッフと意見交換を実施し、施設の役割、利用者及び配属されている専門職について説明できるようになる。	レジュメ	ホームページを参考に、見学する施設の情報を調べておく。
		各コマにおける授業予定	施設見学		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設の役割、利用者及び配属されている専門職について、自身の考えも交えて述べることができるようになる。	レジュメ	施設見学での記録を振り返っておく。
		各コマにおける授業予定	施設見学振り返り		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について詳しく説明できるようになる。	レジュメ	施設見学振り返りで出たゼミ生の意見を振り返っておく
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	選択した専門領域の実際について詳しく説明できるようになる。	レジュメ	前回のディスカッションでの内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ディスカッション、ゼミ生同士の交流から専門領域の知見を広げる。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション用に活動内容をまとめることができるようになる。	レジュメ	前回までのディスカッションでの内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	報告会準備		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション用に活動内容をまとめることができるようになる。	レジュメ	パワーポイントの操作を復習しておく
		各コマにおける授業予定	報告会準備		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	活動内容をまとめ、決められた時間でのプレゼンテーションができるようになる。	レジュメ	パワーポイントの操作を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ゼミ報告会		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	活動内容をまとめ、決められた時間でのプレゼンテーションができるようになる。	レジュメ	パワーポイントの操作を復習しておく
		各コマにおける授業予定	ゼミ報告会		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	共通するソーシャルワーク、領域ごとの専門的なソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	これまでのゼミ活動で出た意見を記録にまとめておく
		各コマにおける授業予定	振り返り		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	602教室
担 当 教 員	辻林 厚	実務経験と その関連資格	高齢者施設、障害者の就労支援施設で相談員・支援員として勤務。 社会福祉士／精神保健福祉士／保育士を取得済み			
《授業科目における学習内容》						
社会福祉士国家試験に向けて、「高齢者に対する支援と介護保険制度」の過去問題を中心に、模擬問題も多く学習します						
《成績評価の方法と基準》						
平常点10点(授業貢献度)、出席点20点、定期テスト70点(100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)、社会福祉士国家試験模擬問題集(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
国家試験の勉強を各自のペースで進めていると思います。クラスメイト同士で教えあいながら勉強する部分も作っていきましょう						
《履修に当たっての留意点》						
各自で国家試験の勉強に取り組んでいると思います。不明な点、わかりにくい点を整理し、授業に持ち込んでください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要についての問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	高齢者虐待の実態、要介護高齢者の実態、認知症高齢者の実態			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症ケア、終末期ケアについての問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	認知症ケアの基本的な考え方、終末期ケアの現状と課題			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険法に関する問題が解けるようになる①	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	介護保険制度の目的、保険者と被保険者			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険法に関する問題が解けるようになる②	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	要介護認定の仕組みとプロセス、居宅介護サービスの種類			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険法に関する問題が解けるようになる③	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください	
		各コマにおける授業予定	住宅改修の種類、地域支援事業の種類			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険法に関する問題が解けるようになる④	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	苦情処理、審査請求について		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険法に関する問題が解けるようになる⑤	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	介護保険制度の最近の傾向、地域包括ケアについて		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険法に関する問題が解けるようになる⑥	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	介護報酬の算定の考え方、請求と支払いについて		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険法に関する問題が解けるようになる⑦	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	介護保険法における連携の方法について		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	老人福祉法に関する問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	老人福祉法の概要、老人福祉法における措置について		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の居住の安定確保に関する問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	高齢者住まい法の概要、サービス付き高齢者向け住宅制度について		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験合格基準の点数が取れるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	プレテスト(国家試験と同レベルのテスト)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前回のテストの誤答を確認し、問題が解けるようになる	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	テストの解答解説		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	最新の法律知識を得ることができるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	直近3年間に新しくできた法律、改正された法律について		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験に向けてこれまでの勉強を振り返り、自信を持てるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集および必要資料はその都度配布します	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	国家試験の出題傾向、総まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉の原理		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年 精神保健福祉専攻		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	田中 香織	実務経験とその関連資格	精神科病院、障害福祉事業所にて相談援助業務に従事 精神保健福祉士、社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
相談援助職において重要な権利擁護について体現化出来るよう理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
試験:70% 出席点:20% 平常評価:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
[精神保健福祉の原理] 中央法規 精神保健福祉士国家試験受験ワークブック(専門科目編)など						
《授業外における学習方法》						
講義を行った部分を教科書で復習						
《履修に当たっての留意点》						
相談援助職にあたる上で、権利擁護の理念を理解することが重要						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神科医療の特異性について説明できるようになる。	テキスト	概要説明	
		各コマにおける授業予定	精神障害者の生活実態(精神科医療の特異性)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の家族について説明できるようになる。	テキスト	・教科書の指定部分を事前に読んでおく ・授業終了後に示す課題を実施しておく	
		各コマにおける授業予定	精神障害者の生活実態(家族)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の社会生活について説明できるようになる。	テキスト	・教科書の指定部分を事前に読んでおく ・授業終了後に示す課題を実施しておく	
		各コマにおける授業予定	精神障害者の生活実態(社会生活)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	「精神保健福祉士」の資格化に至る経緯について説明できるようになる。	テキスト	・教科書の指定部分を事前に読んでおく ・授業終了後に示す課題を実施しておく	
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の資格化の経緯と精神保健福祉の原理と理念(「精神保健福祉士」の資格化に至る経緯)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「精神保健福祉士」の原理・価値について説明できるようになる。	テキスト	・教科書の指定部分を事前に読んでおく ・授業終了後に示す課題を実施しておく	
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の資格化の経緯と精神保健福祉の原理と理念(「精神保健福祉士」の原理・価値)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	「精神保健福祉士」の観点・視点について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の資格化の経緯と精神保健福祉の原理と理念(「精神保健福祉士」の観点・視点)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の基本的枠組みについて説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の資格化の経緯と精神保健福祉の原理と理念(「精神保健福祉士」の関係性)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士法の概要について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の機能と役割(精神保健福祉士法)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の職業倫理について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の機能と役割(精神保健福祉士の職業倫理)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の業務特性について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の機能と役割(精神保健福祉士の業務特性)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の職場・職域について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の機能と役割(精神保健福祉士の職場・職域)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の業務内容と業務指針について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	「精神保健福祉士」の機能と役割(精神保健福祉士の業務内容と業務指針)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士倫理綱領に基づく職責について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	事例から考える精神保健福祉士の機能と役割①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士に求められる機能や役割について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	事例から考える精神保健福祉士の機能と役割②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉の原理の概要について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の指定部分を事前に読んでおく 授業終了後に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	事例から考える精神保健福祉士の機能と役割③		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	ボランティア論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 金曜4限	教室名	601教室
担 当 教 員	山田 健太	実務経験とその関連資格	本校においてボランティア委員を経験し、本校周辺地域における課外活動へ学生と共に毎年参加。			
《授業科目における学習内容》						
<p>ボランティア活動の意義・目的について理解することができる。 ボランティア活動の必要性や活動における心構えを身につける。 課外活動の企画立案及び計画書の作成ができるようになる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点) ボランティア活動に必要な知識・技術の習得度合いについて評価する</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>先輩学生のボランティア活動報告書 随時、講義にてレジュメを配布</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>自分の関心がある分野でのボランティアをリサーチしておく。 自宅周辺のボランティア情報を随時入手する。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>ボランティア活動を始める際には、必ずボランティア保険に加入しましょう。詳しくは、自宅地域の社会福祉協議会および、淀川区ボランティア・市民活センター(淀川区社協)までお問い合わせ下さい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①自主性・自発性、②社会性・連帯性、③無償性・無給性(非営利性)、④創造性・開拓性・先駆性について説明できるようになる。	PC、プロジェクター		関心のあるボランティア活動領域について調べておく
		各コマにおける授業予定	ボランティアとは ～4つの原則～			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティアの受け入れ側と活動側のすり合わせの必要性について説明できるようになる。	PC、プロジェクター		関心のあるボランティア活動領域について調べておく
		各コマにおける授業予定	ボランティアとは ～受け入れる側と活動する側～			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域活性のための活動の意義について説明できるようになる。	PC、プロジェクター		過去の北中島まつりについて調べておく
		各コマにおける授業予定	地域活動実践準備① ～北中島まつりのこれまでの歩み～			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域活性のための活動の意義とやりがいについて説明できるようになる。	物品リスト 計画書		上級生の学年に必要な準備について確認しておく
		各コマにおける授業予定	地域活動実践準備② 北中島まつり出典ブース準備			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域活性のための活動の効果について説明できるようになる。	ワークシート PC/プロジェクター 北中島まつりの活動写真		北中島まつりの前日準備及び当日の参加
		各コマにおける授業予定	北中島まつりの振り返りと次年度に向けて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動の種類や内容が説明できるようになる。	PC、プロジェクター	関心のあるボランティア活動領域について調べておく
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動事例紹介 全国版		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	学生としてできるボランティア活動の種類や内容が説明できるようになる。	PC、プロジェクター	本校のブログ、twitterの記事をさかのぼり、過去の活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動事例紹介 本校版		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	自身の長所と課題について客観的に把握し、説明できるようになる。	ワークシート	自分自身の長所・短所について振り返っておく
		各コマにおける授業予定	自分のことをよく知ろう【自身の長所と課題】		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域のボランティア活動の調整役について説明できるようになる。	ボランティアセンターリーフレット	インターネットでボランティアセンターについて調べる
		各コマにおける授業予定	ボランティアセンターの役割について【社会福祉協議会訪問】		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティアの情報収集についてのノウハウを身につけることができる。	PC/インターネット ボランティア情報雑誌	ボランティア情報雑誌COMVOを読んでおく
		各コマにおける授業予定	ボランティアのリーサーチと志願		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動で活用できるアイスブレイクを、実践できるようになる。	アイスブレイク教本	アイスブレイクについて予習しておく
		各コマにおける授業予定	関係性構築のノウハウ ～アイスブレイク技法～		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	自身の活動を振り返り、気づきや考察を深めることができるようになる。	ボランティア手帳/活動報告書	各自でボランティア活動へ参加し、活動報告書の作成
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動報告①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	自身の活動を振り返り、気づきや考察を深めることができるようになる。	ボランティア手帳/活動報告書	各自でボランティア活動へ参加し、活動報告書の作成
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動報告②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	イベント企画の立案手順を理解し、説明できるようになる。。	ワークシート	自身が立案したい課外活動について考えておく
		各コマにおける授業予定	イベント企画立案		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	5W2Hを基本とした計画書の作成ができるようになる。	ワークシート	5W2Hについて確認しておく
		各コマにおける授業予定	課外活動計画書作成		

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神障害リハビリテーション論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年 精神保健専攻		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	藤村 泰王	実務経験と その関連資格	精神科、心療内科で勤務。ケースワークを行う。			

《授業科目における学習内容》

地域相談援助の援助技術を理解し、支援を実践する際の技術や視点や事例を通して学習する。

《成績評価の方法と基準》

定期試験70%・出席点20%・授業態度10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:精神障害リハビリテーション論

《授業外における学習方法》

授業中の板書を再学習し、教科書の該当箇所を熟読し復習を行なう。予習として、教科書の熟読を行なう。その他、ニュース等に日ごろから関心を寄せ、障害者の置かれている現状を把握する

《履修に当たっての留意点》

地域相談援助の技術を学習するだけでなく、事例を通して実践する際の視点や支援者としての態度も学習する

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションの理念と定義について説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
	各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則		
第2回	授業を通じての到達目標	医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーションについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
	各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則(医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーション)		
第3回	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションの基本原則とソーシャルワークのとの関係について説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
	各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則(精神障害リハビリテーションの基本原則とソーシャルワークのとの関係)		
第4回	授業を通じての到達目標	地域及びリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義について説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
	各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則(地域及びリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義)		
第5回	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションの対象について説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
	各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの構成及び展開(精神障害リハビリテーションの対象)		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションにおけるチームアプローチについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの構成及び展開(精神障害リハビリテーションにおけるチームアプローチ)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションのプロセスについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの構成及び展開(精神障害リハビリテーションのプロセス)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの構成及び展開(精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学的リハビリテーションプログラムについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(医学的リハビリテーションプログラム)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	職業的リハビリテーションプログラムについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(職業的リハビリテーションプログラム)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的リハビリテーションプログラムについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(社会的リハビリテーションプログラム)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育的リハビリテーションプログラムについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(教育的リハビリテーションプログラム)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族支援プログラムについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関(家族支援プログラム)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーションについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの動向と実際(精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーション)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	依存症のリハビリテーションについて説明できるようになる。	教科書:精神障害リハビリテーション論	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害リハビリテーションの動向と実際(依存症のリハビリテーション)		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	ボランティア実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	原田 理恵	実務経験とその関連資格	本校においてボランティア委員を担当し、本校周辺地域における課外活動へ学生と共に毎年参加。			
《授業科目における学習内容》						
2年次の基礎実習、3年次の相談援助実習、4年次の精神保健福祉援助実習と、将来的に行われる実習に繋がるよう、社会福祉の現場を知る機会として、学外ボランティア実習の機会を設け、講義では知り得ない社会福祉の現場をボランティアの立場で経験することを目的としています。						
《成績評価の方法と基準》						
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの参加率 10点 ・ボランティア手帳の提出 20点 ・レポート70点 (100点満点) 						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
随時、レジユメを準備します。						
《授業外における学習方法》						
ボランティア雑誌「COMBO」に目を通す。 インターネット等を使用し、ボランティアについて調べる。						
《履修に当たっての留意点》						
積極的にボランティア活動を行うこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ボランティア実習の目的、目指すところを説明できるようになる。	随時、レジユメを準備します。	「ボランティア」について調べる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション①			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ボランティア実習の目的、目指すところを説明できるようになる。	随時、レジユメを準備します。	「ボランティア」について調べる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション①			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ボランティアの4原則を踏まえ、ボランティアの目的を説明することができるようになる。	随時、レジユメを準備します。	「ボランティア」とは何かを調べる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション②			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ボランティアの4原則を踏まえ、ボランティアの目的を説明することができるようになる。	随時、レジユメを準備します。	「ボランティア」とは何かを調べる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション②			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	ボランティアを自分で見つけることができるようになる。	随時、レジユメを準備します。	ボランティアを検索できるホームページをいくつか見てみる。	
		各コマにおける授業予定	ボランティアの検索方法を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	ボランティアを自分で見つけることができるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティアを検索できるホームページをいくつか見てみる。
		各コマにおける授業予定	ボランティアの検索方法を学ぶ		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	先輩のボランティア報告を聞いて、自分のボランティアに対するイメージをつけることができるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先を自分で見つける。
		各コマにおける授業予定	先輩のボランティア報告から学ぶ		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	先輩のボランティア報告を聞いて、自分のボランティアに対するイメージをつけることができるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先を自分で見つける。
		各コマにおける授業予定	先輩のボランティア報告から学ぶ		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	第1～4回の講義を踏まえ、ボランティアの実践に臨むことができるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先の事前学習を行い、ボランティア後は反省を行う。
		各コマにおける授業予定	ボランティア実践		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第1～4回の講義を踏まえ、ボランティアの実践に臨むことができるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先の事前学習を行い、ボランティア後は反省を行う。
		各コマにおける授業予定	ボランティア実践		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	前回のボランティア実践の反省を踏まえ、次のボランティア活動に活かせるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先の事前学習を行い、ボランティア後は反省を行う。
		各コマにおける授業予定	ボランティア実践		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	前回のボランティア実践の反省を踏まえ、次のボランティア活動に活かせるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先の事前学習を行い、ボランティア後は反省を行う。
		各コマにおける授業予定	ボランティア実践		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	前回のボランティア実践の反省を踏まえ、次のボランティア活動に活かせるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先の事前学習を行い、ボランティア後は反省を行う。
		各コマにおける授業予定	ボランティア実践		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	前回のボランティア実践の反省を踏まえ、次のボランティア活動に活かせるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先の事前学習を行い、ボランティア後は反省を行う。
		各コマにおける授業予定	ボランティア実践		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前回のボランティア実践の反省を踏まえ、次のボランティア活動に活かせるようになる。	随時、レジюмеを準備します。	ボランティア先の事前学習を行い、ボランティア後は反省を行う。
		各コマにおける授業予定	ボランティア実践		

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	4年 精神保健専攻		学期及び曜時限	前期 月曜1限	教室名	1104教室
担 当 教 員	藤村 泰王	実務経験と その関連資格	精神科、心療内科で勤務。ケースワークを行う。			
《授業科目における学習内容》						
地域相談援助の援助技術を理解し、支援を実践する際の技術や視点やを事例を通して学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70%・出席点20%・授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ						
《授業外における学習方法》						
授業中の板書を再学習し、教科書の該当箇所を熟読し復習を行なう。予習として、教科書の熟読を行なう。その他、ニュース等に日ごろから関心を寄せ、障害者の置かれている現状を把握する						
《履修に当たっての留意点》						
地域相談援助の技術を学習するだけでなく、事例を通して実践する際の視点や支援者としての態度も学習する						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期授業通しての学習内容について理解できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域移行支援の対象と体制について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる	
		各コマにおける授業予定	地域移行の対象および支援対象について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の役割と他職種との連携について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる	
		各コマにおける授業予定	地域移行の対象および支援対象について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域移行支援・地域定着支援、地域移行に関わる機関と組織について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる	
		各コマにおける授業予定	地域移行の対象および支援対象について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者を取り巻く社会的状況について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる	
		各コマにおける授業予定	地域を基盤とした相談援助の主体と対象について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域相談援助の主体、対象、体制について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域を基盤とした相談援助の主体と対象について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域相談援助の主体、対象、体制について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域を基盤とした相談援助の主体と対象について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域ネットワークについて説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	アウトリーチについて説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域生活支援事業と訪問支援について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	セルフヘルプグループおよび家族会、精神保健福祉ボランティアの育成と活用について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ケアマネジメントの原則、意義、方法について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	精神障害者のケアマネジメントについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域を基盤とした支援の概念と基本的性格について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域を基盤にした支援とネットワーキングについて		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメントとモニタリングについて説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域を基盤にした支援とネットワーキング		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域を基盤にした支援の具体的展開と包括的な支援の意義と展開について説明できるようになる。	教科書:精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	授業で学んだことを自分の言葉でまとめる
		各コマにおける授業予定	地域生活を支援する包括的支援の意義と展開		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉制度論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	中谷 幸子	実務経験とその関連資格	生活保護法に基づく更生施設にて生活指導員、老人福祉法に基づくケアハウスにて施設長他に従事。介護支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
日本の精神障害者の歴史と法制度を学ぶ。特に精神保健福祉法の内容を理解する。併せて障害者基本法および障害者総合支援法等についても理解したうえで、精神保健福祉士としての精障害者の人権擁護と地域自立生活支援について学ぶ。資料や課題の発表をとおして学生が精神保健福祉士の実践について考察を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業参加態度) 10点、出席点 20点、定期テスト 70点 学習内容についての理解度と授業参加姿勢について評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
精神保健福祉制度論 中央法規						
《授業外における学習方法》						
授業で学習したことを復習し、疑問があれば質問したり、インターネット等で調べる。常に社会情勢に関心をもち、新聞等のマスメディアの報道に注意する。						
《履修に当たっての留意点》						
精神障害者の手記や精神障害について書かれた本等を読み、利用者への理解を深めることでより一層の学習効果が期待できます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	歴史を通し、精神障害者がどのように扱われてきたのかを知り、人権について考察できるようになる。	教科書、資料		
		各コマにおける授業予定	我が国における精神障害者処遇の歴史の変遷① 精神病患者監護法から精神保健法まで			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	歴史を通し、精神障害者がどのように扱われてきたのか人権について考察できるようになる。	教科書、資料	精神疾患と精神障害について予習、当番者は発表準備	
		各コマにおける授業予定	我が国における精神障害者処遇の歴史の変遷② 精神保健福祉法以降の法律整備			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	制度の理解をし、精神保健福祉士としての役割を説明できるようになる。	教科書、資料	精神保健福祉法の条文を読んでおく。当番者は発表準備	
		各コマにおける授業予定	精神障害者に関する制度・施策① 精神保健福祉法			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	制度の理解をし、精神保健福祉士としての役割を説明できるようになる。	教科書、資料	精神保健福祉法の条文を読んでおく。当番者は発表準備	
		各コマにおける授業予定	精神障害者に関する制度・施策② 精神保健福祉法			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉法に定める入院形態とそれぞれの手続等のプロセスを学ぶ。また、その中で精神保健福祉士の役割について説明できるようになる。	教科書、資料	入院形態の種類について予習。当番者は発表準備	
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療に関する制度①			

第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	入院中患者の権利と行動制限について学ぶ。一般病院の入院患者と比較して違いを説明できるようになる。	教科書、資料	入院患者の生活や、処遇についてについて予習。当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療に関する制度②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自殺対策/認知症支援施策/依存症対策の実情を知り、精神保健福祉士としての役割について説明できるようになる。	教科書、資料	自殺/認知症/依存症について予習。当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療に関する制度③ 精神科医療がかかわりをもつ施策		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害/ひきこもりについての実情と支援施策を理解し、精神保健福祉士の役割について説明できるようになる。	教科書、資料	高次脳機能障害/ひきこもりについて予習当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療に関する制度④ 精神科医療がかかわりをもつ施策		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療観察法の成立の背景を知る。医療観察法の概要を理解することができる。	教科書、資料	入院医療、通院医療について予習。当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療に関する制度⑤ 医療観察法の仕組み/入院処遇における多職種チームと精神保健福祉士		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療観察法の入院処遇、地域処遇を具体的に理解でき、社会復帰調整課の役割について説明できるようになる。	教科書、資料	社会復帰調整官役割について調べる。当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療に関する制度⑥ 医療観察法における地域処遇		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者差別解消法の成立と内容について説明できるようになる。	教科書、資料	障害者差別について予習。当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療と関連する施策① 障害者差別解消法		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者虐待防止法の概略を理解し、精神障害者の人権擁護を考察することができるようになる。	教科書、資料	社会的弱者(児童・高齢・障害)への虐待行為について調べる。当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療と関連する施策②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	意思決定支援の重要性と精神保健福祉士の役割を理解し、説明できるようになる。	教科書、資料	意思決定支援について予習。当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療と関連する施策③		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者が自分らしく地域生活を当たり前にするための重要性について自身の考えを述べるができるようになる。	教科書、資料	精神障害者の地域生活を支援する社会資源を予習当番者は発表準備
		各コマにおける授業予定	精神障害者の医療と関連する施策④ 地域移行・地域定着支援と地域包括ケアシステム/アウトリーチ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の支援する制度を再確認し、精神保健福祉士として一人ひとりの状況に応じた支援を考えることができるようになる。	教科書	前期に学んだことの復習
		各コマにおける授業予定	総括 これまでの振り返り		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	福祉マネジメント演習Ⅱ(応用)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 金曜2限	教室名	1101教室
担 当 教 員	山田健太	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
学外におけるイベント企画を通じて、人・モノ・金・情報・時間の活用術を実践的に習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点10点(授業貢献度)、出席点20点、定期テスト70点(100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
組織心理学 見るだけノート(宝島社)、ビジネスフレームワーク 見るだけノート(宝島社)						
《授業外における学習方法》						
グループで活動する際に、人・モノ・金・情報・時間の要素がどのように関連しているかを意識し、リーダーシップを発揮してみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
福祉サービスの組織と経営にもつながる科目です。主体的に企画に参加し、実践的に学びを深めていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	人・モノ・金・情報・時間の5つの要素を基本に置いたマネジメントについて説明できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション～マネジメントの振り返り～			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期学外活動の概要を把握し、役割分担ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション～イベント企画の概要～			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動計画が立案できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動の計画			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動計画が立案できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動の計画			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の準備ができるようになる	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動の準備			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の準備ができるようになる	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動の準備		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の準備ができるようになる	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動の準備		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の準備ができるようになる	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動の準備		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の任せられたパートについて実践できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動実践		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の任せられたパートについて実践できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動実践		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の任せられたパートについて実践できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動実践		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の任せられたパートについて実践できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動実践		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の評価ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動の評価		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業との連携活動の改善を行い、次クールへ引き継ぐことができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	企業との連携活動の改善		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	人・モノ・金・情報・時間の要素を基本に置いた基本的なマネジメントができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	総括		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク演習(精神専門)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生 精神保健福祉専攻	学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	三好 弘之	実務経験と その関連資格	日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程修了 精神科病院にて精神保健福祉士として従事		

《授業科目における学習内容》

本講義では、ソーシャルワークの実践に必要とされる基礎的な援助技術方法や理念などを事例検討やグループ討論、演習などを通して習得し、卒業後、入職した機関の実践場面で活かせるようになることを目的とする。また、本講義での知識を国試への対策に役立てることができる。

《成績評価の方法と基準》

平常点(授業態度及び貢献度)10点 出席点20点 定期試験70点 (100点満点)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

「ソーシャルワーク演習(精神専門)」中央法規出版

《授業外における学習方法》

毎回、授業開始時に配布する資料の復習をし、関心を深めるために事例や文献などを集める。

《履修に当たっての留意点》

講義形式の授業と違い、演習や事例検討を行う上では、ソーシャルワークの基礎知識が必要です。事前の学習が必要となります。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回 演習形式	授業を通じての到達目標	ストレングスについて理解し、説明できるようになる。	配布資料	過去の演習授業を振り返っておく。
	各コマにおける授業予定	5ピクチャーズを活用した講義と事例検討		
第2回 演習形式	授業を通じての到達目標	認知症について理解し、説明できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
	各コマにおける授業予定	認知症の基礎知識についての講義と事例検討		
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標	地域包括支援システムについて理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
	各コマにおける授業予定	認知症高齢者と家族への支援についての事例検討		
第4回 演習形式	授業を通じての到達目標	「地域の支え合い」とは何かを理解し、自分自身の地域における社会資源を把握できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
	各コマにおける授業予定	『住民暦書』に対する講義と『住民暦書』を作成する		
第5回 演習形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の症状及び2次的障害を理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害の主な症状についての講義と事例検討		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(依存症支援)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(依存症支援)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(依存症支援)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(家族支援)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(家族支援)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(就労支援)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(就労支援)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(職場ストレス・リワーク支援)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉領域の事例演習(職場ストレス・リワーク支援)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	「当事者主体」「社会正義」について実践的考察ができるようになる	配布資料	配布資料を復習する。
		各コマにおける授業予定	総括		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	社会福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年 地域福祉専攻		学期及び曜時限	前期 金曜1限	教室名	1101教室
担 当 教 員	原田 理恵	実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

社会福祉士国家試験に向けて、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の理解を深める。

《成績評価の方法と基準》

平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)
ボランティア活動に必要な知識・技術の習得度合いについて評価する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)
その他随時、講義にてレジュメを配布

《授業外における学習方法》

問題を解くことになれるよう、過去問を積極的に解いていってください

《履修に当たっての留意点》

初めての国家試験対策の授業ですので、じっくり問題を解いて、不明点を洗い出し、自分なりの勉強方法を確立していくようにしてください

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回 演習形式	授業を通じての到達目標	障害者の生活実態と社会情勢に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	障害、障害者の法的定義、障害者に関わる社会調査		
第2回 演習形式	授業を通じての到達目標	障害者制度の発展過程に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	ノーマライゼーション、インクルージョン、障害者計画		
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標	障害者に関する条約、法律に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	障害者権利条約、障害者差別解消法、障害者雇用促進法		
第4回 演習形式	授業を通じての到達目標	障害者基本法に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	障害者基本法、障害者週間		
第5回 演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法に関する問題が解けるようになる①	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
	各コマにおける授業予定	措置制度、支援費制度、障害者自立支援法		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法に関する問題が解けるようになる②	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	障害者総合支援法の概要、自立支援給付、訓練等給付		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法に関する問題が解けるようになる③	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	地域生活支援事業と支援の流れ		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法における組織及び団体の役割に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	国の役割、都道府県の役割、市町村の役割		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法における事業所と専門職の役割に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	事業所の役割、専門職の役割、他職種連携		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	身体障害者福祉に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	身体障害者福祉法、身体障害者更生相談所、身体障害者手帳		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	知的障害者福祉に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	知的障害者福祉法、知的障害者更生相談所、療育手帳		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健及び精神障害者福祉に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	精神障害者福祉法、精神障害者保健福祉手帳、入院制度		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達障害者福祉に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	発達障害者福祉法、発達障害者支援センター		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者虐待に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	障害者虐待防止法、バリアフリー法、身体障害者補助犬法		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者に関する割引、免税制度に関する問題が解けるようになる。	社会福祉士国家試験過去問解説集(中央法規)、社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)	該当項目の過去問を解いて解説を読み、わからないところをチェックしておいてください
		各コマにおける授業予定	割引、免税の種類、その他優遇制度等		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	精神保健福祉援助演習 I・II		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年生 精神保健福祉専攻		学期及び曜時限	前期 月曜2限	教室名	1104教室
担 当 教 員	三好 弘之	実務経験とその関連資格	日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程修了 精神科病院にて精神保健福祉士として従事			
《授業科目における学習内容》 本講義では、ソーシャルワークの実践に必要とされる専門的な援助技術方法などを事例検討やグループ討論、演習などを通して習得し、卒業後、入職した機関で当事者や家族に対する適切な支援を行うことができることを目的とする。また、本講義での知識を国試への対策に役立てることができる。						
《成績評価の方法と基準》 平常点(授業態度及び貢献度)10点 出席点20点 定期試験70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 「精神保健福祉援助演習(基礎・専門)」(編:日本精神保健福祉士養成校協会 中央法規)						
《授業外における学習方法》 毎回、授業開始時に配布する資料の復習をし、関心を深めるために事例や文献などを集める。						
《履修に当たっての留意点》 講義形式の授業と違い、演習や事例検討を行う上では、ソーシャルワークの専門知識が必要です。事前の学習が必要となります。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ストレングスについて理解し、説明できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。	
		各コマにおける授業予定	5ピクチャーズを活用した講義と事例検討			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	認知症について理解し、説明できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。	
		各コマにおける授業予定	認知症の基礎知識についての講義と事例検討			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域包括支援システムについて理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。	
		各コマにおける授業予定	認知症高齢者と家族への支援についての事例検討			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	「地域の支え合い」とは何かを理解し、自分自身の地域における社会資源を把握できるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。	
		各コマにおける授業予定	『住民暦書』に対する講義と『住民暦書』を作成する			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の症状及び2次的障害を理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。	
		各コマにおける授業予定	高次脳機能障害の主な症状についての講義と事例検討			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	アディクションに対する正しい知識を習得し、説明することができる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	アルコール依存症などのアディクションについての基礎知識		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通して、国、自治体での取り組み、自助グループなどを理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	アルコール依存症者や家族への支援に対する事例検討		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通して、国、自治体での取り組み、自助グループなどを理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	薬物依存に対する基礎知識と事例検討		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	鬱病と自殺との関連、自殺対策などを理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	鬱病についての基礎知識と事例検討		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達障害と2次障害を理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	発達障害についての基礎知識と事例検討		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ障害と2次障害を理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	パーソナリティ障害についての基礎知識と事例検討		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	不登校とその背景や家族を理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	不登校に対する基礎知識と事例検討		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	ひきこもりとその背景や家族を理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	ひきこもりについての基礎知識と事例検討		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療観察法と対象者やその家族を理解し、実践に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	医療観察法の対象者に対する基礎知識と事例検討		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神障がい者の家族の歴史、変遷を理解し、家族支援に活かすことができるようになる。	配布資料	配布資料を復習する。次回授業のキーワードについて調べる。
		各コマにおける授業予定	精神障がい者の家族に対する支援についての基礎知識と事例検討		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(精神)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	長谷川 章子	実務経験とその関連資格	精神保健福祉士 精神科医療機関で精神保健福祉士として勤務する。			
《授業科目における学習内容》						
精神保健福祉士国家試験過去問を中心に解答解説を行い、知識の定着を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
過去問題集など試験関連のテキストは持参。プリントは随時配布する						
《授業外における学習方法》						
ネットニュースやTVのニュースに日ごろから関心を寄せるよう心掛ける。 障害者の置かれている現状を十分に把握する。						
《履修に当たっての留意点》						
自主的に学習に取り組む						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集		授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神疾患とその治療の過去問を解く			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集		授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神疾患とその治療の過去問を解く			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集		授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健の課題と支援の過去問を解く			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集		授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健の課題と支援の過去問を解く			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集		授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉相談援助の基盤の過去問を解く			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉相談援助の基盤の過去問を解く		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉相談援助の基盤の過去問を解く		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉の理論と相談援助の展開の過去問を解く		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉の理論と相談援助の展開の過去問を解く		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉の理論と相談援助の展開の過去問を解く		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉の理論と相談援助の展開の過去問を解く		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉に関する制度とサービスの過去問を解く		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉に関する制度とサービスの過去問を解く過去問を解く		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神障害者の生活支援システムの過去問を解く		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	誤った問題をすべて理解できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神障害者の生活支援システムの過去問を解く		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	精神保健福祉援助実習指導		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年 精神保健福祉専攻		学期及び曜時限	前期 金曜1限	教室名	1104教室
担 当 教 員	中谷 幸子	実務経験とその関連資格	生活保護法に基づく更生施設にて生活指導員、老人福祉法に基づくケアハウスにて施設長他に従事。介護支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>精神保健福祉援助実習での体験を通して、精神保健福祉士の知識・技術・価値を実践レベルで考える機会を有用なものとしていけるようにする。また自己覚知を深め、自身の課題を捉え、専門職として研鑽していけるようにする。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて資料等を配布します。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>精神保健福祉の実践に必要な知識(精神保健福祉法、障害者総合支援法、社会保障制度、生活保護)や技術(アセスメント、面接技法等)、価値(バイスティックの7原則、ストレングス・ベースド・アプローチ、人権擁護、当事者研究など)に関する文献を読む。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実践モデルやアプローチは、暗記ものにせず、頭でイメージできるように理解してほしい。国家試験においても高頻出であるので、問われ方に慣れておくようしっかり復習を行うこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	計画的に実習までの事前準備に取り組めるようになる。	レジュメ配布	各実習先についてHPやパンフレットにて調べる	
		各コマにおける授業予定	実習事前準備から報告会までの流れ 関係書類の説明			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	配属先実習機関の理解を図ることができるようになる。	レジュメ、PC	各実習先についてHPやパンフレットにて調べる	
		各コマにおける授業予定	配属先発表と各自配属先について調べる。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	現場の精神保健福祉士から実習への心得を学び、現場のイメージを持つことができるようになる。	レジュメ、PC	各実習先についてHPやパンフレットにて調べる	
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉の実践現場を学ぶ。 精神科病院の精神保健福祉士から、実習に臨む姿勢について学ぶ。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現場の精神保健福祉士から実習への心得を学び、現場のイメージを持てるようになる。	レジュメ配布	各実習先についてHPやパンフレットにて調べる	
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉の実践現場を学ぶ。 地域で生活支援を行う精神保健福祉士から、実習に臨む姿勢について学ぶ。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習日誌のまとめ方、考察の仕方を習得し、実践できるようになる。	レジュメ配布	模範記録を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	記録と考察			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまで準備してきたことを確認し、不安感を軽減し、自分らしく実習に臨むことができる。	レジュメ配布	倫理綱領を熟読
	各コマにおける授業予定	実習直前指導 実習における基本姿勢の確認		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 実習生同士の共感的理解を得ることができるようになる。	レジュメ配布	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習で得た体験、苦勞の体験を共有 ピアスーパービジョン体験		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 実習生同士の共感的理解を得ることができるようになる。	レジュメ配布	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習で得た体験、苦勞の体験を発表 ピアスーパービジョン体験		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 自身の成長を客観視して捉えることができるようになる。	レジュメ配布	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習で得た体験から自身の成長を言語化する。 実習機関へのお礼状を作成する。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 GWで共有し、体験の普遍化を図ることができるようになる。	レジュメ配布	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習振り返り① 実習機関について、精神保健福祉士について学んだこと		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 GWで共有し、体験の普遍化を図ることができるようになる。	レジュメ配布	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習の振り返り② 精神障害者について、自分自身について学んだこと		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 グループスーパービジョンを通して、ジレンマと向き合うことができるようになる。	レジュメ配布	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習中のジレンマを共有する。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 自身の学びについてのプレゼンテーションを実践できるようになる。	PC	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習報告会用 資料作成 事後指導とスーパービジョン		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 自身の学びについてのプレゼンテーションを実践できるようになる。	PC	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習報告会用 資料作成 事後指導とスーパービジョン		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 自身の学びについてのプレゼンテーションを実践し、自身の考えや思いを他者に伝えられるようになる。	PC	実習日誌を振り返る
	各コマにおける授業予定	実習報告会用 資料作成 事後指導とスーパービジョン 総括		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 2/3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202など
担 当 教 員	中谷 幸子/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、演習教材						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる 関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動の4原則について説明できるようになる	レジュメ	ボランティア活動の4原則について予習しておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、自己紹介			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動で主体的な学びにつなげる行動ができるようになる。	レジュメ	ボランティア活動ハンドブックを一読しておく	
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動の意義・目的			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	バリアフリーについて説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	バリアフリー展の資料をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	バリアフリー展報告、ライフサイクルゲーム			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	バリアフリーについて説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	バリアフリー展の資料をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	バリアフリー展報告、ライフサイクルゲーム			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	学校周辺地区の避難経路について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	まち歩き実施地区のマップを見ておく	
		各コマにおける授業予定	避難訓練を兼ねたまち歩き			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	学校周辺地区の避難経路について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	まち歩き実施地区のマップを見ておく
		各コマにおける授業予定	避難訓練を兼ねたまち歩き		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	現場実習での学びの視点について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアの参加事業所のHPを調べておく
		各コマにおける授業予定	イベント準備と実習対策／クロスロードゲーム		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	現場実習での学びの視点について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアの参加事業所のHPを調べておく
		各コマにおける授業予定	イベント準備と実習対策／クロスロードゲーム		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	業界研究を深め、目指す領域について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアでまわった事業所の資料をまとめておく
		各コマにおける授業予定	就職フェア報告		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	業界研究を深め、目指す領域について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアでまわった事業所の資料をまとめておく
		各コマにおける授業予定	就職フェア報告		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	介護現場での食事形態、避難所での食事について説明できるようになる。	※調理実習室使用	調理の基本を調べておく
		各コマにおける授業予定	調理実習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	介護現場での食事形態、避難所での食事について説明できるようになる。	※調理実習室使用	調理の基本を調べておく
		各コマにおける授業予定	調理実習		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピーの効果について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	エクササイズの動画を見ておく
		各コマにおける授業予定	エクササイズ、アロマセラピー		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピーの効果について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	エクササイズの動画を見ておく
		各コマにおける授業予定	エクササイズ、アロマセラピー		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を再認識し、説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	映画のシーンで、自分ならどのような関わりをするか考える
		各コマにおける授業予定	福祉映画		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 2/3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202など
担 当 教 員	中谷 幸子/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、演習教材						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる 関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を再認識し、説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー		映画のシーンで、自分ならどのような関わりをするか考える
		各コマにおける授業予定	福祉映画			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	避難所での課題や、運営方法について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	避難所運営ゲーム			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	避難所での課題や、運営方法について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	避難所運営ゲーム			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	避難行動訓練について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	EVAG			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	避難行動訓練について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	EVAG			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	フットケアの効果について説明できるようになる。	※調理実習室使用	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	シャボンラッピング		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	フットケアの効果について説明できるようになる。	※調理実習室使用	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	シャボンラッピング		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅福祉の実際について説明できるようになる。	※ゲスト予定	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	在宅福祉を考える（宅配弁当試食、等）		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅福祉の実際について説明できるようになる。	※ゲスト予定	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	在宅福祉を考える（宅配弁当試食、等）		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマケアの効果について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	実習報告、アロマケア		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマケアの効果について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	実習報告、アロマケア		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	AEDの操作ができるようになる。	※外部講師	外部講師の所属先について調べておく
		各コマにおける授業予定	AEDの実践		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	AEDの操作ができるようになる。	※外部講師	外部講師の所属先について調べておく
		各コマにおける授業予定	AEDの実践		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	活動報告のフィードバック効果について説明できるようになる。	活動記録 活動画像	地域活動の記録をまとめておく
		各コマにおける授業予定	地域活動報告まとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動で主体的な学びにつなげる行動について自身の考えを述べるができるようになる。	活動記録 活動画像	地域活動の記録をまとめておく
		各コマにおける授業予定	ボランティア演習まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	精神保健福祉援助実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	210 (5) 時間(単位)
対 象 学 年	4年 精神保健福祉専攻	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	中谷 幸子	実務経験とその関連資格	生活保護法に基づく更生施設にて生活指導員、老人福祉法に基づくケアハウスにて施設長他に従事。介護支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士		

《授業科目における学習内容》

①精神障害者の置かれている現状について理解を深め、「生活のしづらさ」についての共感的理解を図る。②実習機関の機能と具体的な役割の理解を通して、実際の精神保健福祉士の実践について学ぶ。③精神保健福祉士の援助実践を通して、援助者とクライアントとの援助関係や援助技術のあり方について学ぶ。④実習機関内での、他職種との連携・連絡を通して、チームワークアプローチの在り方について学ぶ。⑤実習機関での、社会資源の利用や開拓、また他機関との連携について、地域での包括的生活支援の在り方について学ぶ。⑥全体的な実習を通して、福祉専門職としての価値原理について考察し、同時に自己の感情や行動についての洞察を深める。

《成績評価の方法と基準》

実習評価表(30%) 実習日誌(40%) 実習報告書(30%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

倫理綱領

《授業外における学習方法》

実習指導者との振り返りから気づきと考察を深め、日誌に反映させてください。

《履修に当たっての留意点》

現場実習において、精神保健福祉士の専門性、当事者の課題や望み、実習機関の役割の理解を深めることは大切ですが、他者を理解するには、自分自身の理解も必要不可欠です。自己覚知を深め、実りある実習としてください。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式 授業を通じての到達目標	実習機関の機能及び役割について説明できるようになる。	倫理綱領	事前学習を十分に行い、実習の活動中で理解できなかった専門語については次の日までに必ず調べておくようにする。
	各コマにおける授業予定	職場実習		
第2回	実習形式 授業を通じての到達目標	実習機関及び関連機関における多職種の専門性について説明できるようになる。	倫理綱領	実習の活動中で理解できなかった専門語については次の日までに必ず調べておくようにする。
	各コマにおける授業予定	職種実習		
第3回	実習形式 授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の個別の関わりについて理解を深め、当事者が抱える生活課題、望みについて説明できるようになる。	倫理綱領	実習の活動中で理解できなかった専門語については次の日までに必ず調べておくようにする。
	各コマにおける授業予定	ソーシャルワーク実習		
第4回	実習形式 授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の専門性について理解し、ソーシャルワークの実際について説明できるようになる。	倫理綱領	実習の活動中で理解できなかった専門語については次の日までに必ず調べておくようにする。
	各コマにおける授業予定	ソーシャルワーク実習		
第5回	実習形式 授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第7回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第8回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(精神)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年 精神保健福祉専攻		学期及び曜時限	前期 木曜1限	教室名	1104教室
担 当 教 員	長谷川 章子	実務経験と その関連資格	精神保健福祉士 精神科医療機関で精神保健福祉士として勤務する。			
《授業科目における学習内容》						
精神保健福祉士国家試験過去問を中心に解答解説を行い、知識の定着を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
過去問題集など試験関連のテキストは持参。プリントは随時配布する						
《授業外における学習方法》						
ネットニュースやTVのニュースに日ごろから関心を寄せるよう心掛ける。 障害者の置かれている現状を十分に把握する。						
《履修に当たっての留意点》						
自主的に学習に取り組む						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の業務を説明できるようになる。	プリント配布	精神の基盤及び展開の テキストの該当箇所を 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉士の業務の説明			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉の歴史を説明できるようになる。	プリント配布	精神の基盤及び展開の テキストの該当箇所を 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉関連の歴史の流れを、日本と世界に分け年表を作成			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神疾患とその治療の学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を 再度解答し、自分の言 葉で間違い箇所を説明 できるようにする	
		各コマにおける授業予定	精神疾患とその治療の過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神疾患とその治療の学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を 再度解答し、自分の言 葉で間違い箇所を説明 できるようにする	
		各コマにおける授業予定	精神疾患とその治療の過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健の課題と支援の学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を 再度解答し、自分の言 葉で間違い箇所を説明 できるようにする	
		各コマにおける授業予定	精神保健の課題と支援の過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健の課題と支援の学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健の課題と支援の過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉相談援助の学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉相談援助の基盤の過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉相談援助の学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉相談援助の基盤の過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の生活支援システムの学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神障害者の生活支援システムの過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の生活支援システムの学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神障害者の生活支援システムの過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉の理論と相談援助の展開の学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉の理論と相談援助の展開の過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉の理論と相談援助の展開の学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉の理論と相談援助の展開の過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉に関する制度とサービスの学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉に関する制度とサービスの過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉に関する制度とサービスの学習要点を説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉に関する制度とサービスの過去の国試および模試を提示、傾向を説明し学習要点を伝える		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の専門教科の理解を深め、説明できるようになる。	過去問集	授業で間違えた問題を再度解答し、自分の言葉で間違い箇所を説明できるようにする
		各コマにおける授業予定	まとめ		